SONY

4-089-365-**02** (3)

見る

調整する／設定する

テレビの接続と準備

他機との接続

その他

液晶カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

KLV-15SR1

目次

見る

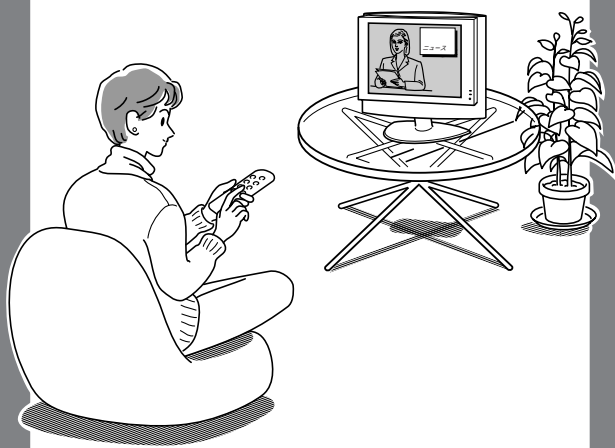
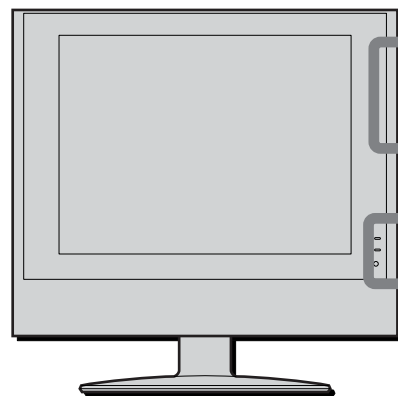
調整する／設定する

テレビの接続と準備

他機との接続

その他

見る

ここでは、通常のテレビをはじめ、ビデオやDVDなどテレビにつないだ機器の映像を見るときの操作を説明しています。
映像に合った画質/音質に設定したり、節電しながら見たりするなど、多彩な機能の操作も説明しています。

テレビを見る

消音ボタン
一時的に音を消すときに押します。
もう1度押すか、音量＋ボタンを押すと音が出ます。

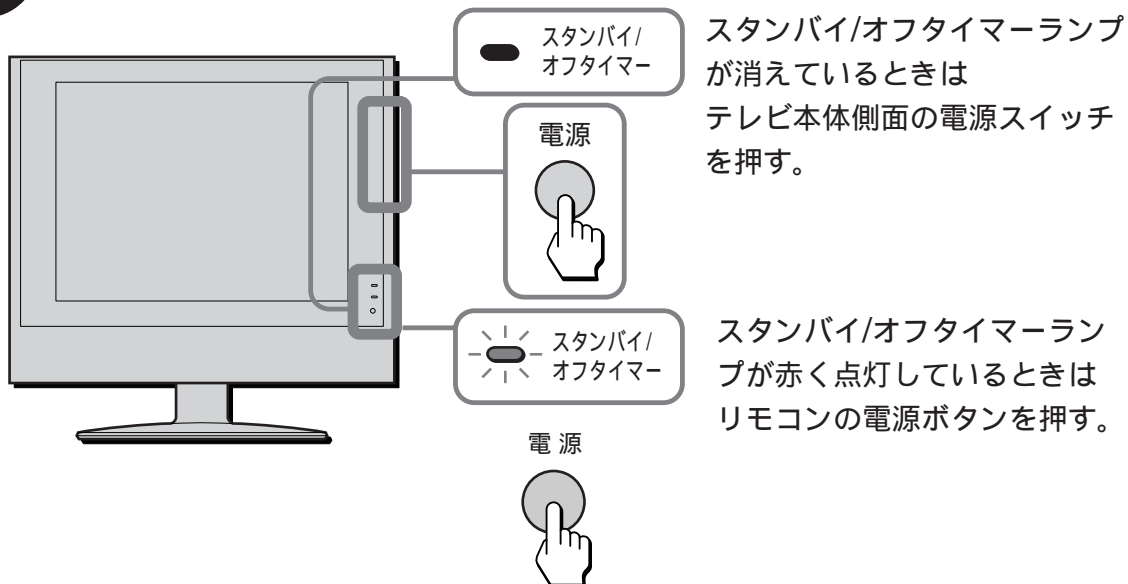
画面表示ボタン
チャンネル表示を出すときに押します。
もう1度押すと表示は消えます。

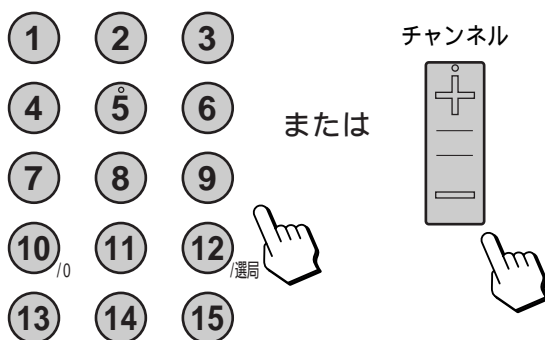
ちょっと一言

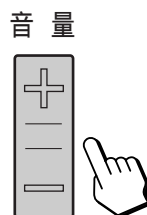
- スタンバイ/オフタイマーランプが点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネル+/−ボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります（チャンネルポン機能）。
- 省電力のため、放送が終了して（または放送のないチャンネルにしたまま）約10分過ぎると、「まもなく電源が切れます」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。

1 テレビの電源を入れる。

スタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは
テレビ本体側面の電源スイッチを押す。

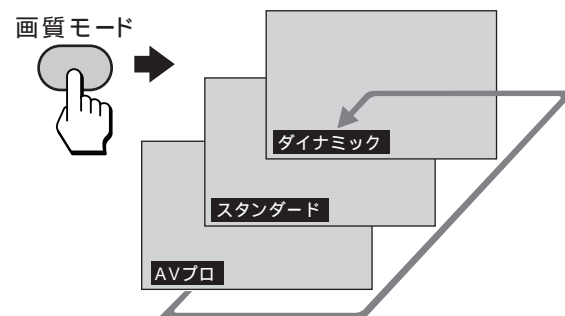
スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは
リモコンの電源ボタンを押す。

2 チャンネル数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

チャンネル+/−ボタンでもチャンネルを選べます。

3 音量+/−ボタンで音量を調節する。

ちょっと一言
音量表示の上にある数値も調節の目安になります。

画質を選ぶ
[画質モードボタン]

画質モードボタンを押すだけで、映像の種類や部屋の明るさに合った映像を選べます。また、「AVプロ」を選ぶと、より細かく画質を調整できます（☞12ページ）。
画質モードは、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに別々に設定できます。

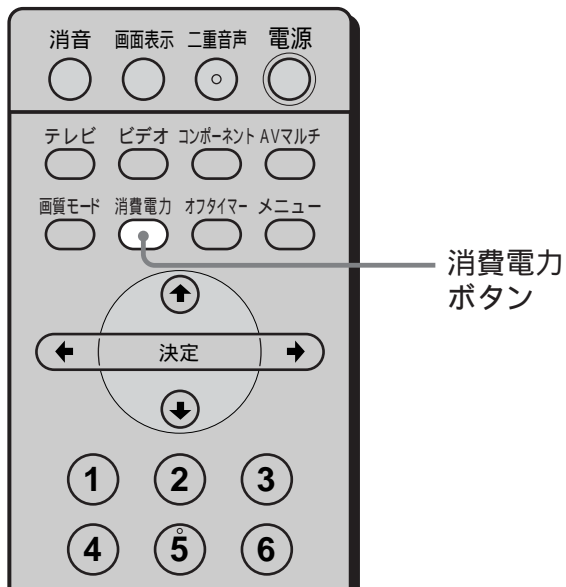
画質モードボタンをくり返し押す。

1回押すと、現在の画質モードが表示されます。その後、押すたびに、次のように切り換わります。

ダイナミック
映像の輪郭とコントラストを最大限に上げたメリハリの非常に強い映像になります。

スタンダード
ご家庭の様々な使用環境に適した、コントラスト感のある映像になります。

AVプロ
お好みの画質を自由に設定できます（☞12ページ）。

節電しながら見る
[消費電力ボタン]

節電しながら見ることができます。

消費電力ボタンを押す。

節電中になります。

節電をやめるには

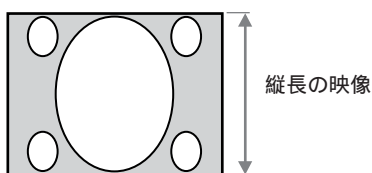
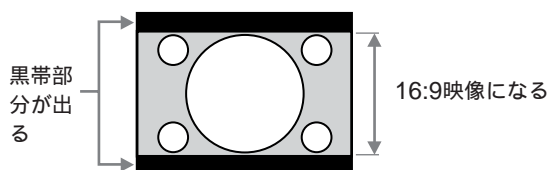
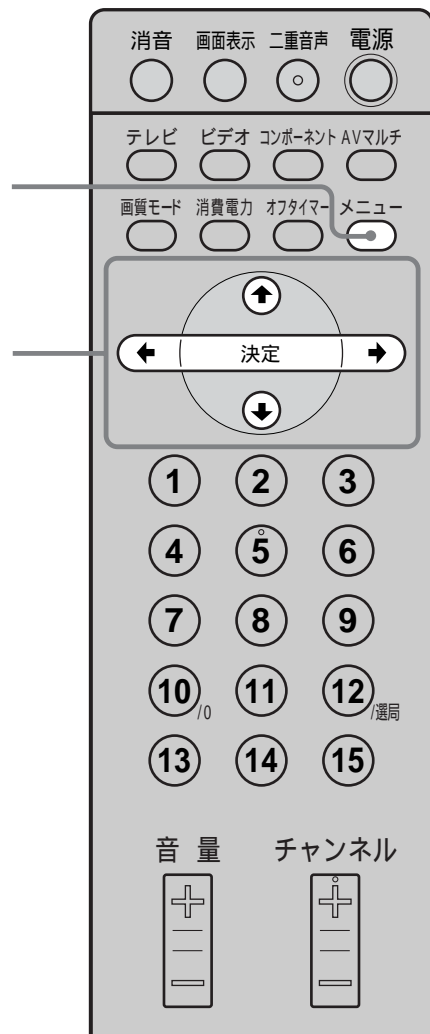
もう1度、消費電力ボタンを押す。
「消費電力:標準」と表示されます。

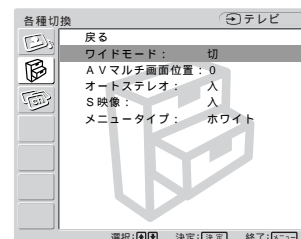
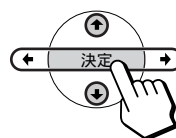
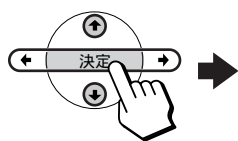
ちょっと一言

「消費電力:減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力:減」のままになります。

横長の画面にする
[ワイドモード]

BSデジタル放送やDVDプレーヤー、ビデオカメラなどの横縦比16:9映像を縦長に記録した映像を、16:9のワイド映像に戻して見ることができます。

ワイドモード「切」のときの映像（16:9**映像を縦長にした映像）**

ワイドモードが働いているときの映像（16:9**映像）**

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「(各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「ワイドモード」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「オート」を選び、決定ボタンを押す。

通常は、「オート」（お買い上げ時の設定）にしてください。

横縦比の信号（D1入力端子からの横縦比情報の入ったBSデジタル放送やID-1/S1方式）を、自動判別して縦方向を圧縮した横縦比16:9のワイド画面にし、それ以外の映像はオリジナルそのままに映します。正しく判別されるようにつないでください。

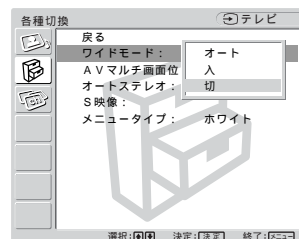
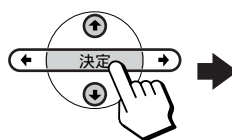
つなぐ機器の映像出力端子の種類	コードの種類
D1**映像出力端子があるときは**	D映像・音声コードでつなぐ（別売り：VMC-DD20*など）
S1**映像出力端子があるときは**	S映像・音声コードでつなぐ（別売り：YC-810S*など）
ビデオID-1**システム対応の映像出力端子があるときは**	映像・音声コードでつなぐ（別売り：VMC-810S*など）

上記のいずれでもないときは、「オート」で判別されずに、縦長の画像のまま表示されることがあります。その場合は、「ワイドモード：入」を選んでワイド画面にしてください。

「入」を選ぶと

すべての映像を縦方向に圧縮します。

「切」を選ぶと

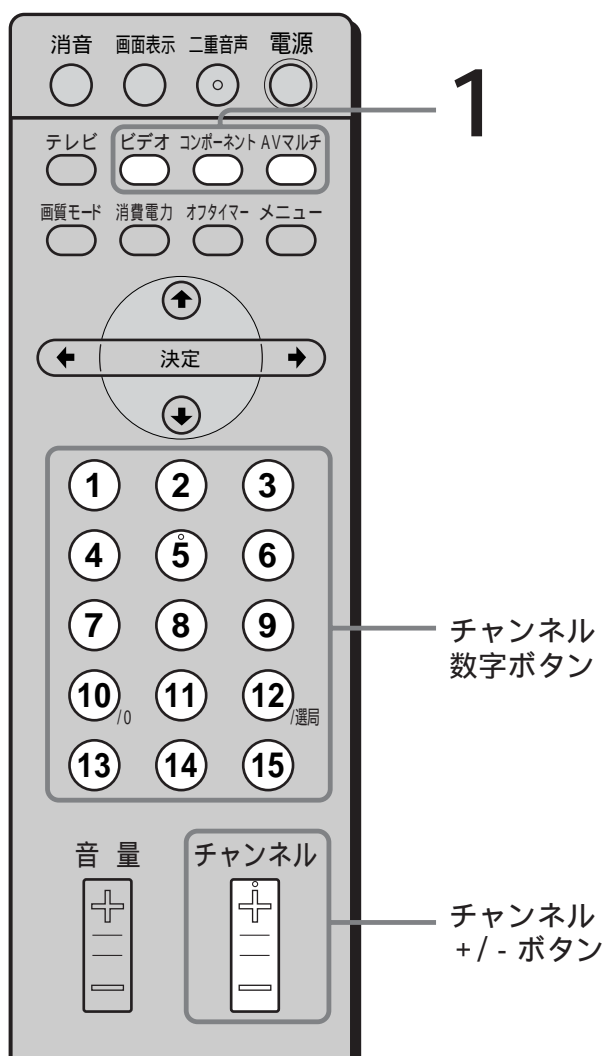
すべての映像をオリジナルそのままに映します。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ワイドモードについてのご注意

- 通常のテレビ放送やBS放送など横縦比4:3の映像で、ワイドモードを「入」にすると、縦方向に圧縮されて不自然に見えます。
- ワイドモード機能を、喫茶店やホテル等で、営利目的、または公衆に視聴させる目的として使用すると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意願います。
- ワイドクリアビジョン放送や上下に黒帯が入っている横長の映画などのワイド画像のときは、「オート」または「切」にしてください。
  「入」を選ぶと、従来から入っていた黒帯の部分まで縦方向に圧縮されて、よりつぶれた映像になるためです。

* 2002年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

テレビにつないだ機器の画像を見る

入力を切り換えて、テレビにつないだビデオ機器やBSデジタルチューナー、デジタルCSチューナー、テレビゲームなどの画像を見ることができます。接続のしかたについては、☞28〜37ページをご覧ください。

1 入力切換用のボタンを押して、見たい画像を選ぶ。

各ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わります。

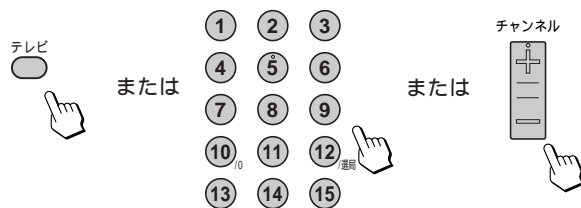
押すたびに	以下につないだ機器の画像になります。	画面表示も変わります。
ビデオ	• ビデオ入力端子	ビデオ*
コンポーネント	• コンポーネント入力端子	コンポーネント（525i）
AVマルチ	• AVマルチ入力端子 詳しくは、「AVマルチ入力端子につないだとき」（☞11ページ）をご覧ください。	AVマルチ RGB ↕ AVマルチ Y/CB/CR

* S1映像端子につなぎ、「（各種切換）」メニューの「S映像」を「入」にしているときは（☞30ページ）、「Sビデオ」と表示されます。

2 接続している機器を操作する。

詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すときは

テレビボタン、チャンネル数字ボタンまたはチャンネル+/−ボタンを押す。

ちょっと一言

テレビ本体の入力切換ボタンをくり返し押しても、入力を切り換えられます。

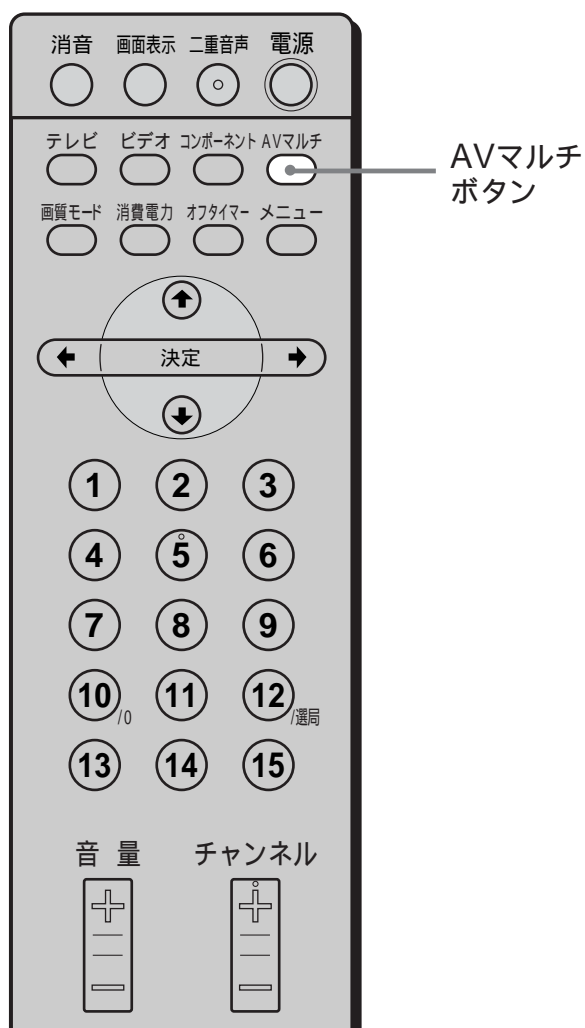
テレビ → ビデオ → コンポーネント
↑ ↓
AVマルチ Y/CB/CR ← AVマルチ RGB

"プレイステーション 2"、"プレイステーション"(PS one) および"プレイステーション"を楽しむ

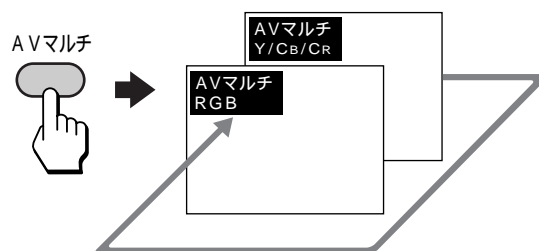
"プレイステーション 2"、
"プレイステーション"(PS one) および
"プレイステーション"の取扱説明書もあわせてお読みください。

AVマルチ入力端子につないだとき(☞34ページ)

RGB接続またはY/CB/CR接続になり、高画質な映像でゲームを楽しめます。

ご注意
ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB接続またはY/CB/CR接続に適していないものもあります。

AVマルチボタン

AVマルチボタンをくり返し押す。

押すたびに、AVマルチ入力が、次のように切り換わります。

"プレイステーション 2"を使うには
AVマルチボタンをくり返し押して、"プレイステーション 2"の映像が出る入力(「AVマルチRGB」または「AVマルチY/CB/CR」)にする。

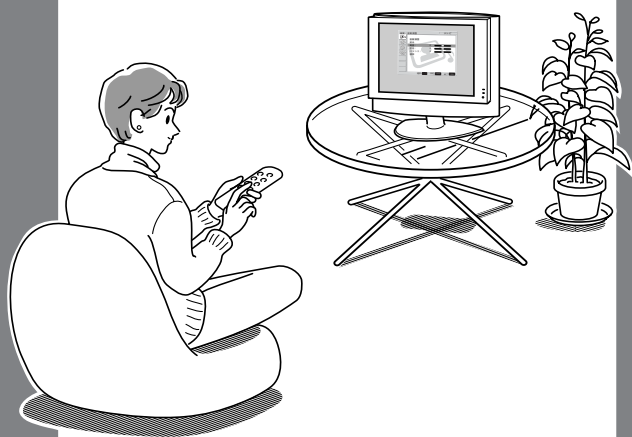
ご注意
下の表のように、"プレイステーション 2"側の設定にテレビ側のAVマルチ入力を合わせてください。
設定が異なっていると、映像が乱れたり、正しく表示されないことがあります。

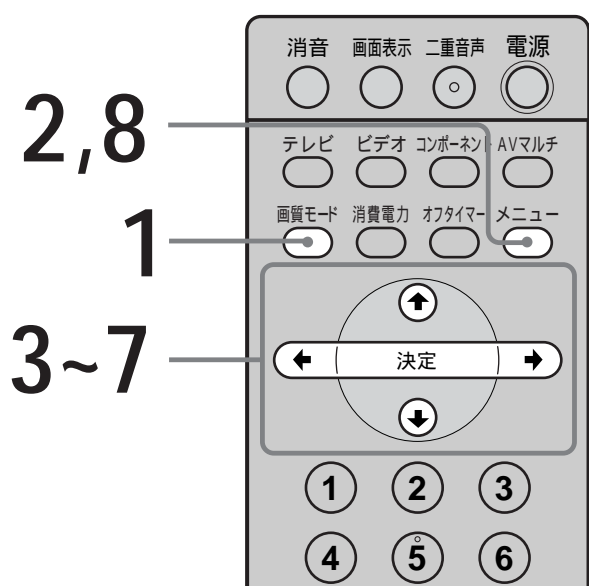
"プレイステーション 2"側のシステム設定画面で「コンポーネント映像出力」が	テレビ側のAVマルチ入力を
「RGB」のときは、	「AVマルチRGB」にする。
「Y Cb/Pb Cr/Pr」のときは、	「AVマルチY/CB/CR」にする。

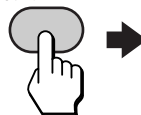
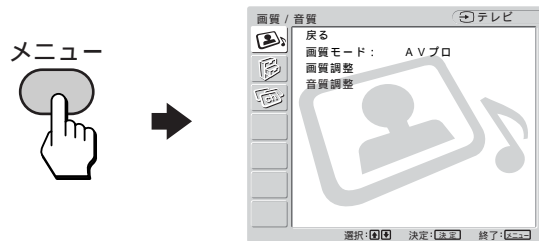
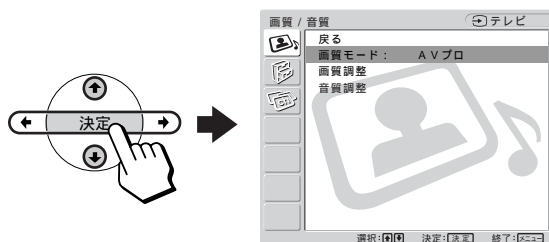
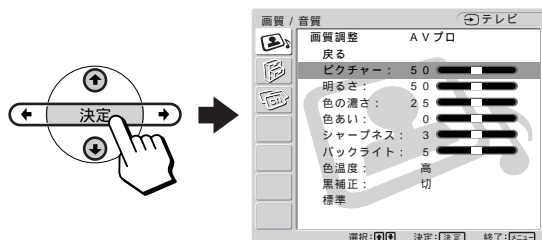
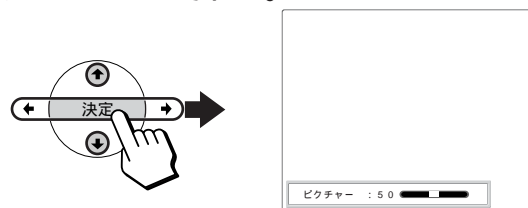
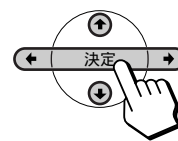
"プレイステーション"(PS one) および"プレイステーション"を使うには
AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチRGB」を選ぶ。

ちょっと一言
- AVマルチ入力端子は、ビデオ入力端子に比べて色の帯域が広くなっています。色あいが異なる場合がありますが、テレビに影響はありません。
- 将来の"プレイステーション 2"用の高解像度ゲームソフトなどには、このテレビは対応していません。
  詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- 電子的なライフルやガン(銃)などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、テレビの画面を使用できないことがあります。詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

調整する/設定する

ここでは、画質や音質、および画面の位置やサイズなどを調整する応用的な操作を説明しています。

より細かく画質を調整する

画質モードボタンで「AVプロ」を選ぶと、画質をより細かく調整できます。
画質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます。

1 画質モードボタンをくり返し押して、「AVプロ」を選ぶ。

ご注意
「ダイナミック」と「スタンダード」（☞6ページ）では、画質調整できません。

2 メニューボタンを押す。

3 ↑/↓で「(画質/音質)」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「画質調整」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓/←/→で調整し、決定ボタンを押す。

調整できる項目

項目	↓/←を押すと	↑/→を押すと
ピクチャー	明暗の差が小さくなる	明暗の差が大きくなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	赤みがかる	緑がかる
シャープネス	映像の輪郭が柔らかくなる	映像の輪郭がくっきりする
バックライト	画面が暗くなる	画面が明るくなる

ちょっと一言

調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

設定を選んで調整できる項目

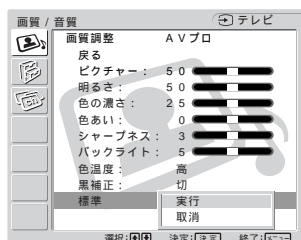
項目	説明	選べる設定
色温度	「高」から「低」にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になる。	高/中/低
黒補正	黒を強調してコントラストを強くする。	入/切

次のページにつづく

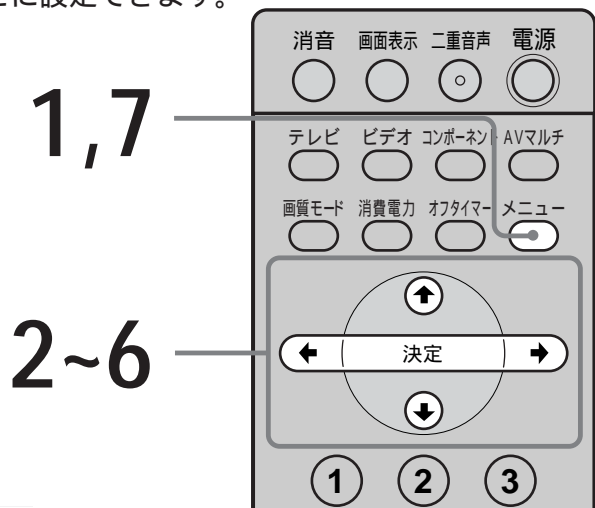
7 他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。

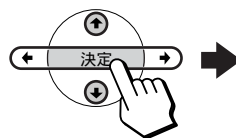
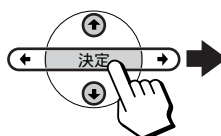
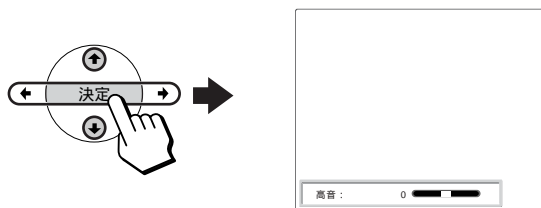
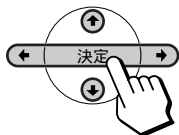
8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

1 手順5で「標準」を選び、決定ボタンを押す。

2 「実行」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

音質を調整する

音質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます。

1 メニューボタンを押す。

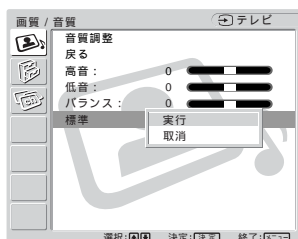
2 ↑/↓で「（画質/音質）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「音質調整」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓/←/→で調整し、決定ボタンを押す。

項目	↓/←を押すと	↑/→を押すと
高音	弱くなる	強くなる
低音	弱くなる	強くなる
バランス	左側の音が強くなる	右側の音が強くなる

ちょっと一言
調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

6 他の項目を調整するときは、手順4と5をくり返す。

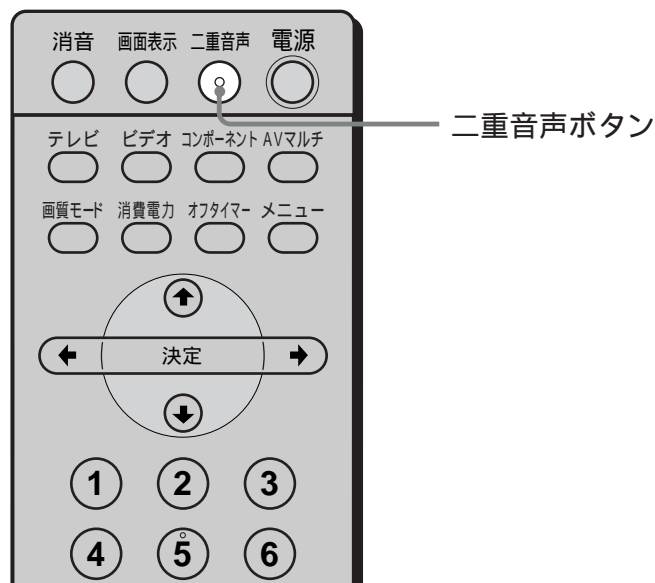
7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

1 手順5で「標準」を選び、決定ボタンを押す。

2 「実行」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

音声を切り換える

[二重音声ボタン]

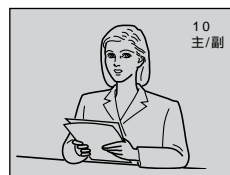
二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。

二重音声ボタン

二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに下表のように切り換わります。

二重音声

画面表示	テレビの左スピーカーの音声	テレビの右スピーカーの音声
主	両方とも主音声	
副	両方とも副音声	
主/副	主音声	副音声

左側（主音声）

右側（副音声）

例:「主/副」を選んだとき

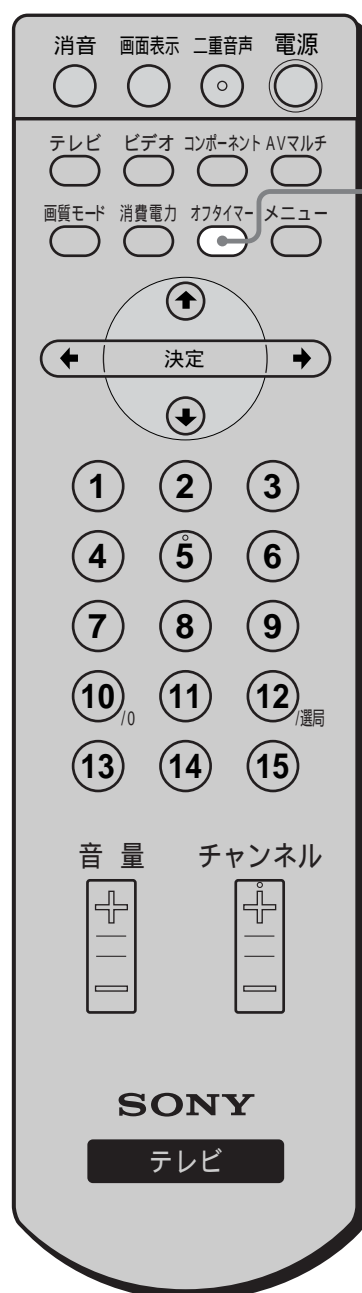
次のページにつづく

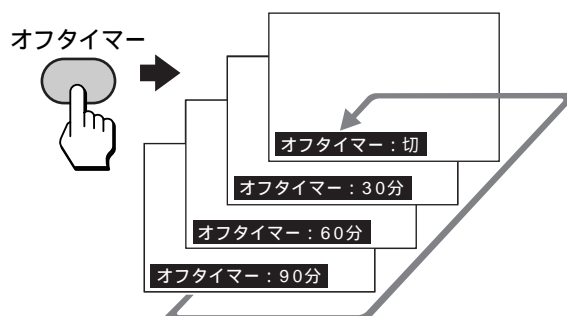
通常のテレビ（VHF/UHF）のステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

1. **雑音の多いチャンネルを映した状態で、メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「切」にして、決定ボタンを押す。**
5. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

自動で電源を切る
[オフタイマーボタン]

テレビをつけたまま寝てしまっても、設定した時間（30分、60分または90分）が過ぎると、自動的に電源が切れます。

オフタイマーボタンをくり返し押す。

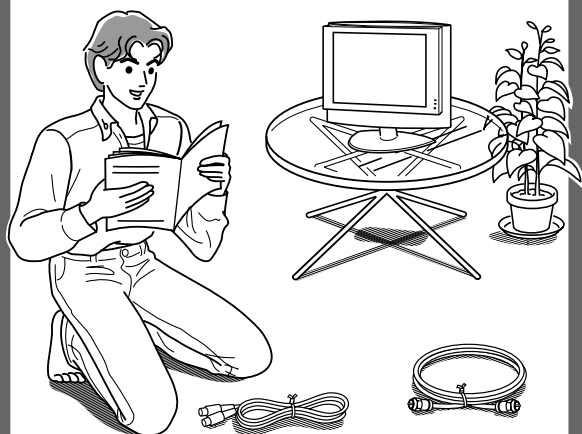
押すたびに、次のように時間が変わります。また、テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯します。

オフタイマーを途中でやめるには

オフタイマーボタンをくり返し押して、「オフタイマー:切」を選ぶ。

ちょっと一言

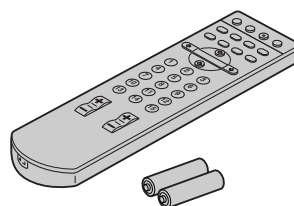
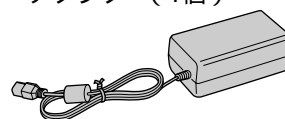
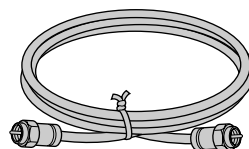
- オフタイマーが働いているときに、オフタイマーボタンを押すと、もう一度時間を設定できます。
- 電源を入れ直したときは、「オフタイマー:切」に戻ります。
- 電源が切れる1分前になると、「まもなく電源が切れます」と表示されます。メニューなどを開いているときは、「まもなく電源が切れます」と表示されないこともあります。

テレビの接続と準備

ここでは、テレビアンテナのつなぎかた、およびチャンネル設定を説明しています。
手順1～3（☞19～25ページ）まで済ませれば、テレビを見ることができます。
他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」（☞28～37ページ）をご覧ください。

付属品を確かめる

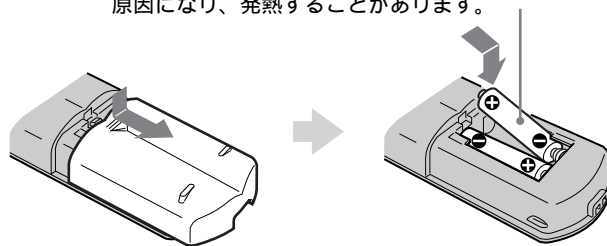
箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

リモコン（1個）と単4型乾電池（2個）

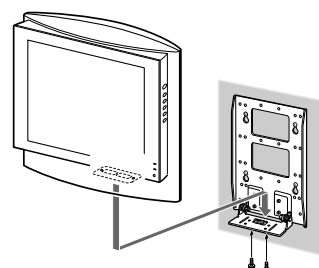
電源コード（1本）

ACパワーアダプター（1個）

アンテナ接続ケーブル（1本）

クリーニングクロス（1枚）

取扱説明書
安全のために/安全点検のおすすめ
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
（各1部）

リモコンに電池を入れるには

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

壁にかけるときは

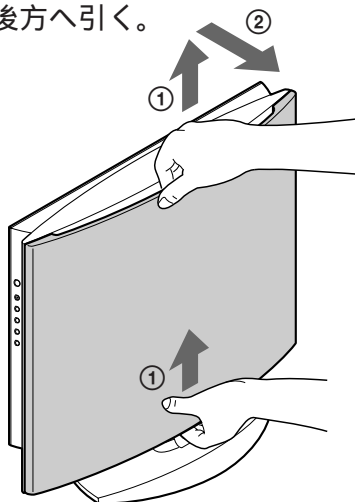
本機を壁にかけて使用するときは、別売りの壁取付金具をご使用ください。

- 液晶テレビ用壁取付金具（別売り）
  SU-W100

手順1:テレビアンテナをつなぐ

テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。
いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

アンテナやコード類を接続するときは、後面のカバーを外してください。
(機器の接続が終わったらカバーを取り付けてください。)

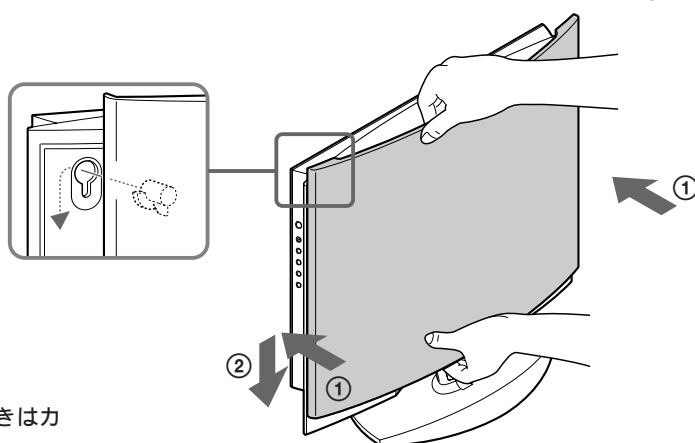
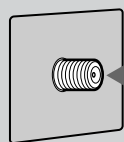
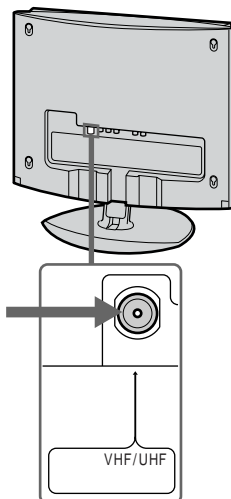
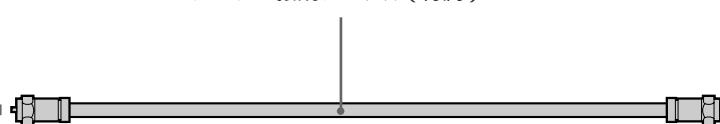
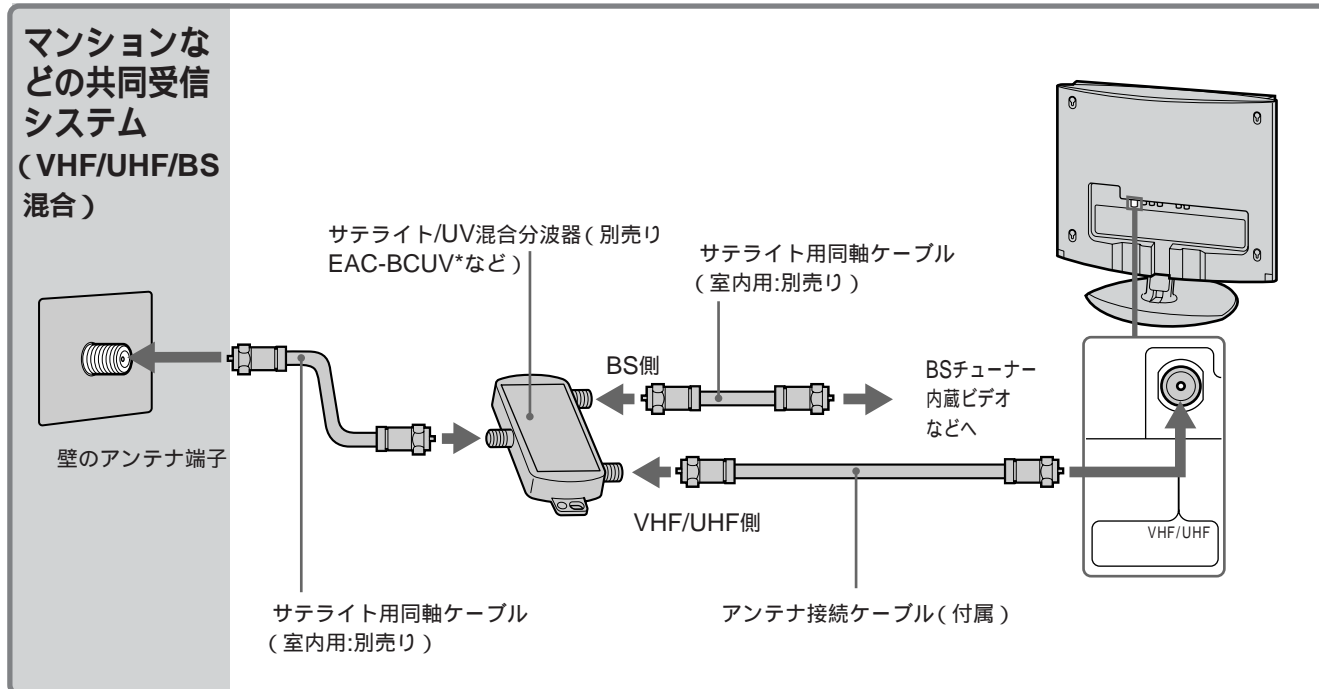
カバーの外しかた

① 後面のカバーを図のようにつかみ、上方へ(1cm程度)スライドさせる。
② 後方へ引く。

ご注意
後面のカバーは外れやすいので、本体を持ち運ぶときはカバーのみを持たないでください。

カバーの取り付けかた

① 後面のカバーを図のように持ち、カバーの4か所の突起を本体の4か所のカギ穴に合わせてください(本体よりカバーが1cm程度上の位置が目安です)。
② 後面のカバーと本体とを密着させながら、下方向にスライドさせてください。

テレビの接続と準備

次のページにつづく

手順1:
テレビアンテナをつなぐ（つづき）

CSデジタル放送を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認し、その指示に従って、接続および受信方法の設定を行ってください。

きれいな画像をお楽しみいただくために

このテレビには、多くのデジタル回路による新テクノロジーが搭載されています。このため、安定した画像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、妨害電波を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

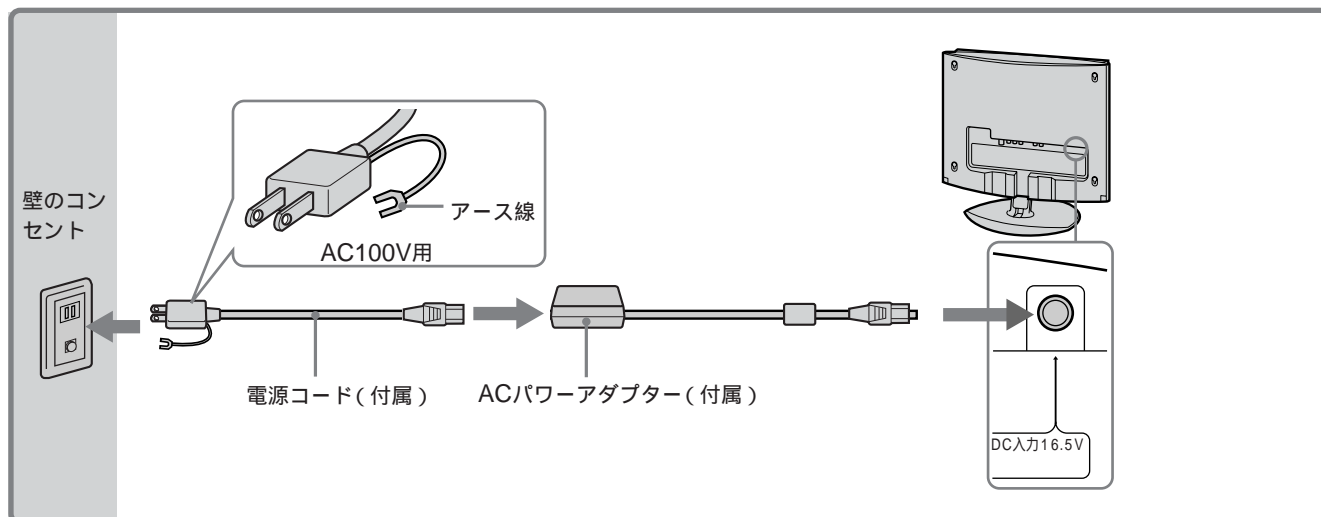
- **テレビ後面のVHF/UHF端子への接続は、必ず付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください。**
- **アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。**
- **室内アンテナ、フィーダー線は特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。**

ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。万が一、フィーダー線をご使用になる場合は、テレビからできるだけ離してください。
- BS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブル（室内用：別売り）をつないでください。BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源（DC 15V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ（別売りEAC-BC2*またはEAC-BC4*など）を必ずお使いください。特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分配器を使うと、BSチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。

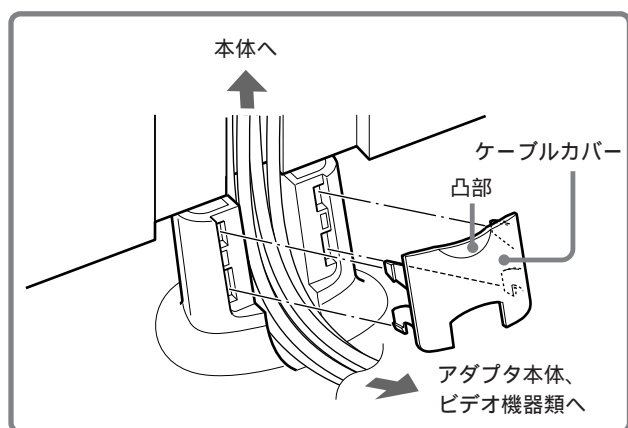
* 2002年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

手順2:電源コードをつなぐ

必ず付属のACパワーアダプターと電源コードをご使用ください。安全のため、電源コードにはアース線が付けられています。コンセントにプラグを差し込む前に、アース線をアースへ接続してください。

ご注意

電源コードをコンセントからはずす場合は、アース線を最後にはずしてください。

このテレビは、スタンドにケーブル類を収納できます。

- アンテナケーブル
- ACアダプターケーブル
- ビデオ入力端子またはコンポーネント入力端子に接続したコード類のうちどちらか一方

カバーを外すときは、上端部の凸部に指をひっかけるようにして上から引っ張ってください。カバーを取り付けるときは、ツメをスタンドの穴に合わせて押しこんでください。

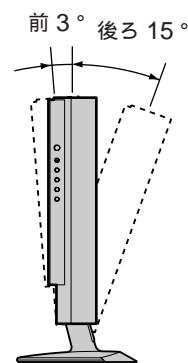
ご注意

上記のケーブル以外を通すときは、スタンドに収納できないことがあります。そのときは、スタンドの両わきを通してください。

見やすい角度に調整する

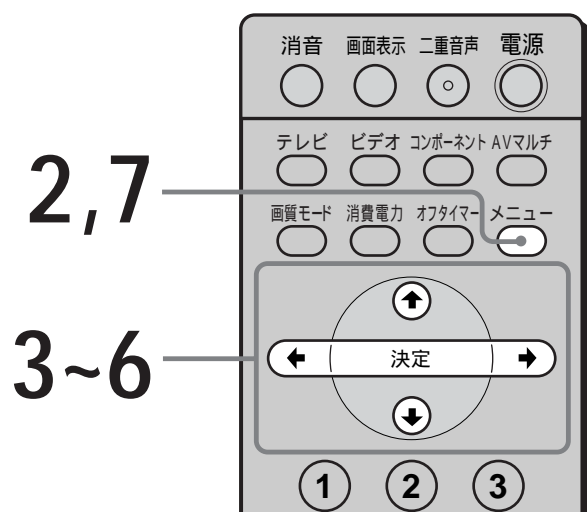
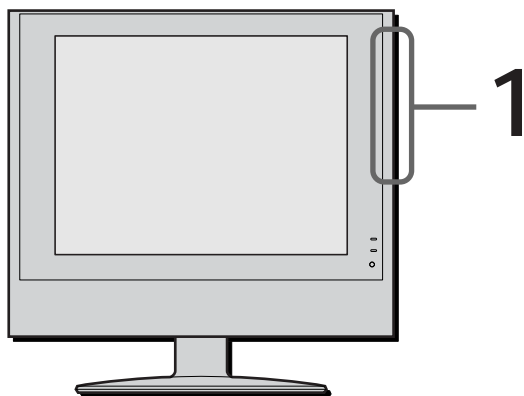
本体の角度を前後に調整できます。

本機右側面

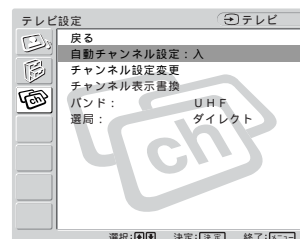
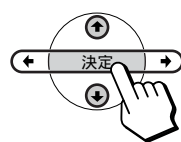
テレビの接続と準備

手順3: チャンネルを設定する

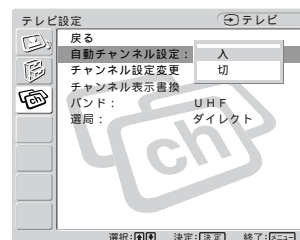
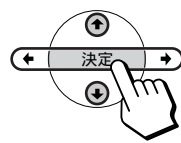
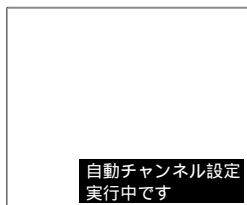
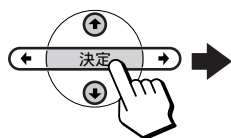
VHF/UHF放送は、自動でも手動でも受信設定できます。はじめに自動設定することをおすすめします。

自動設定する

受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字ボタンに自動的に設定します。放送のある時間帯に行ってください。
自動設定したチャンネルを変更したり、放送のないチャンネルをとばすときは、☞24～25ページをご覧ください。

1 **テレビ本体の電源スイッチを押す。**

2 **メニューボタンを押す。**

3 **↑/↓で「(テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **「自動チャンネル設定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。**

選ばれていないときは、↑/↓で選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。

「自動チャンネル設定実行中です」と表示され、自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下のメニューに変わります。

リモコンの数字ボタン

設定したチャンネル（新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル）*

* 地域によっては、これまでご覧になっていたチャンネル番号と異なる場合があります。

6 設定されたチャンネルを確認する。

手動で設定し直したいときは

☞24ページをご覧ください。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

チャンネル設定を途中でやめるには

手順5で「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間に、リモコンのメニューボタンを押す。

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。このテレビでは、C13～C35までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1. **ダイレクト選局になっていることを確認する（☞25ページ）。**
2. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
3. **↑/↓で「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。**
6. **↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**
7. **↑/↓でケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。**
9. **↑/↓でケーブルテレビのチャンネルを選び、決定ボタンを押す。**
   ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
   例:C24
10. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。
- ケーブルテレビで「10キー選局」（☞25ページ）をするときは、自動設定で受信設定をした後、「10キー選局」に切り換えてください。

次のページにつづく

手順3:
チャンネルを設定する（つづき）

手動設定する

自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。
1〜15のチャンネル数字ボタンを、手動で設定できます。

リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

リモコンの数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

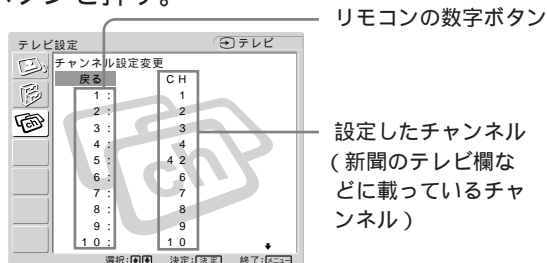
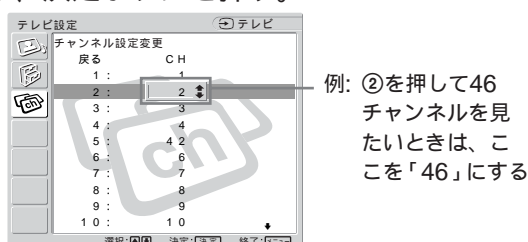
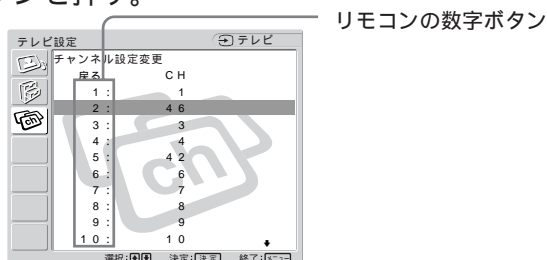
2 ↑/↓で「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

リモコンの数字ボタン

設定したチャンネル（新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル）

4 ↑/↓で変更したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。

例: ②を押して46チャンネルを見たいときは、ここを「46」にする

5 ↑/↓で設定したチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。

リモコンの数字ボタン

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

- 手動設定でケーブルテレビの受信の設定をするときは、「（テレビ設定）」メニューで、「バンド」を「CATV」にしてください。詳しくは、（☞23ページ）をご覧ください。
- リモコンの数字ボタンの13〜15に、UHFチャンネルを設定すると、チャンネルの順がわかりやすくなり便利です。

チャンネル表示を書き換えるには

画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

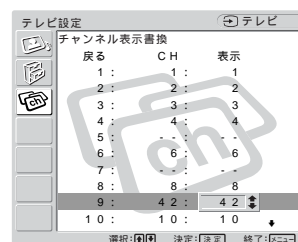
2 ↑/↓で「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。

リモコンの数字ボタン

チャンネル表示

設定したチャンネル（新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル）

4 ↑/↓で書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓でチャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。

例: 42チャンネルを「5」と表示したいときは、ここを「5」に変える

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

チャンネルと表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。

放送のないチャンネルをとばすには

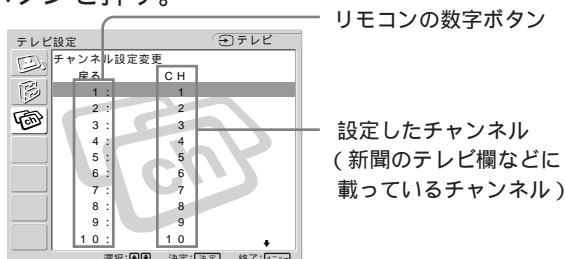
チャンネル＋/－ボタンでチャンネルを選ぶときに、放送のないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定できます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

リモコンの数字ボタン

設定したチャンネル（新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル）

4 ↑/↓でとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

例: 5チャンネルをとばすときは、ここを選ぶ

5 ↑/↓で「－－」を選び、決定ボタンを押す。

例: 5チャンネルをとばすときは、ここを「－－」に変える

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

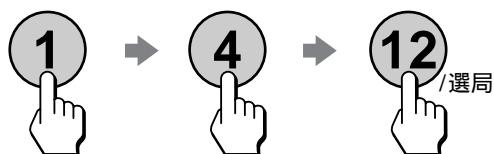
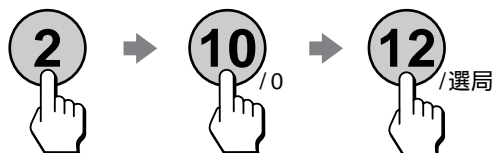
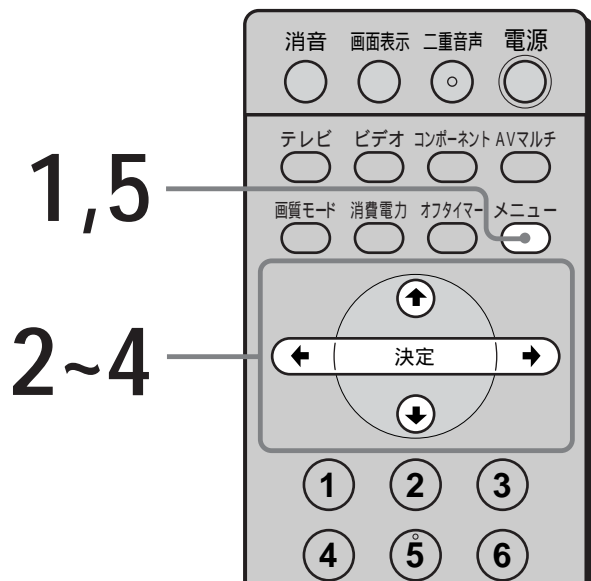
数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ［10キー選局］

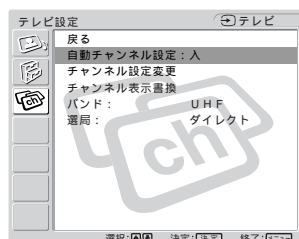
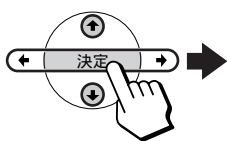
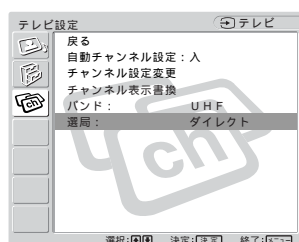
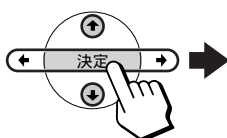
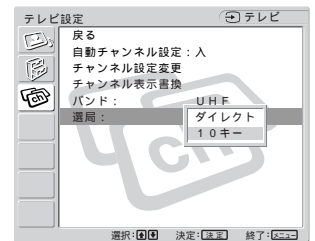
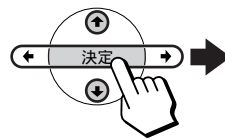
お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。
「ダイレクト選局」は、リモコンの数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大15局です。

そのため、ケーブルテレビなど見たいチャンネルの数が15局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。
「10キー選局」では、数字ボタンを十の位・一の位の順に押した後、⑫/選局を押して、チャンネルを選びます。0は⑩/0を使います。

ちょっと一言

⑫/選局を押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。

例） 14**チャンネル**

20**チャンネル**

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ［10キー選局］（つづき）

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「（テレビ設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「選局」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「10キー」を選び、決定ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ダイレクト選局に戻すには

手順4で「ダイレクト」を選ぶ。

ご注意

- チャンネルを自動設定する（☞22ページ）ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順2の後に下記の操作をした後、手順3以降を行ってください。
  1 ↑/↓で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
  2 ↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
  3 手順3以降を行う。

チャンネル＋/－ボタンで選ぶ放送を設定するには

お買い上げ時は1～12チャンネルが順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどでこれ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

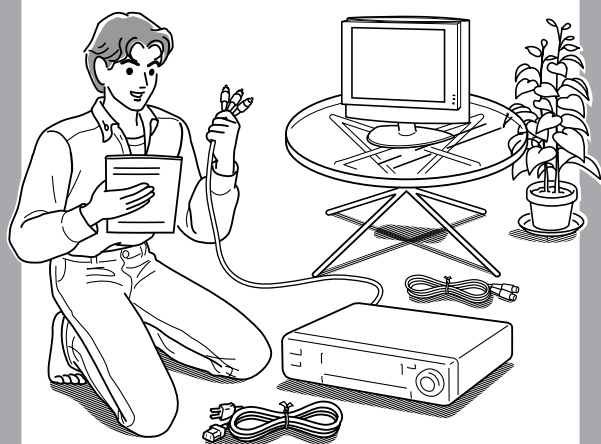
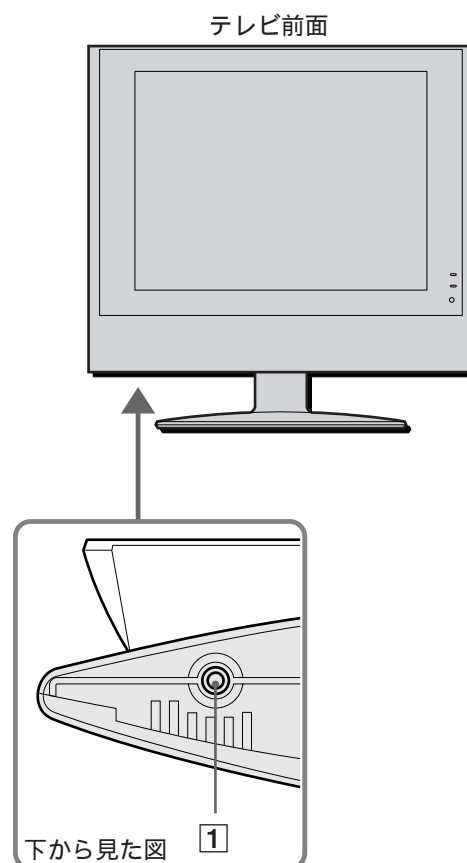
5 ↑/↓で見たいチャンネルのときは「受信」を、とばしたいチャンネルのときは「ーー」を選び、決定ボタンを押す。

6 複数のチャンネルを設定するときは、手順4と5をくり返す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

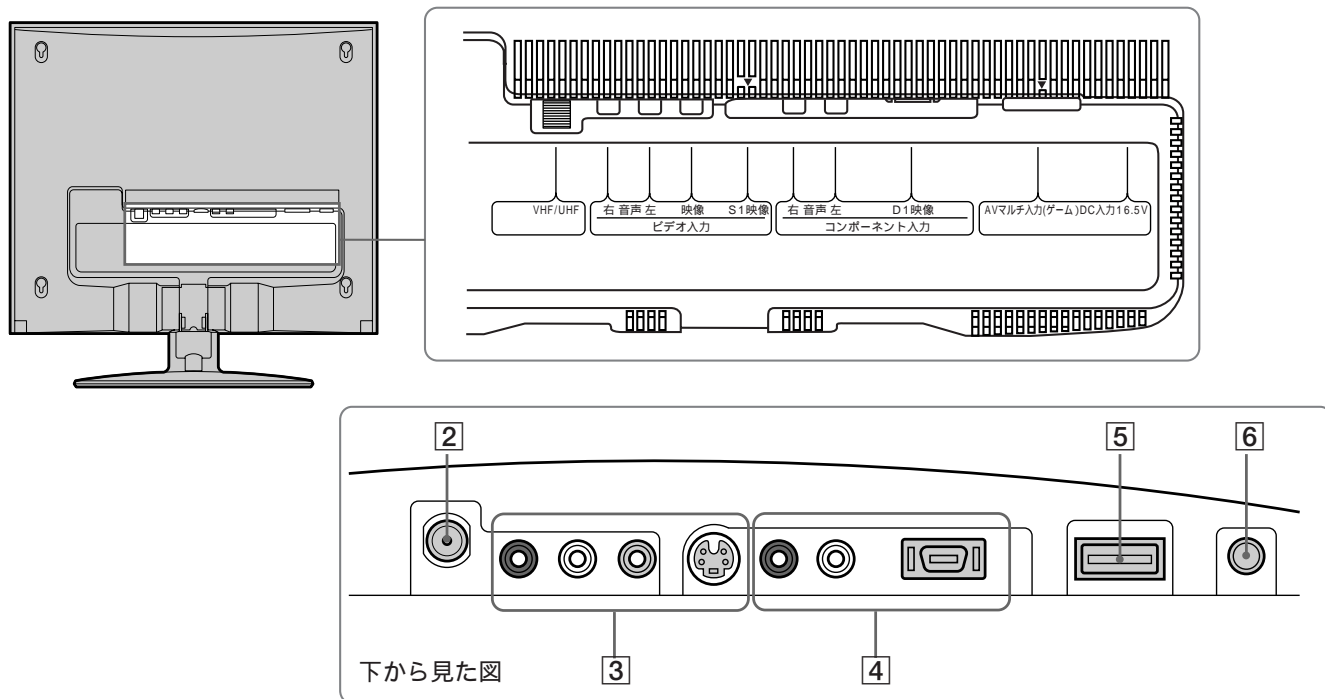
テレビの接続と準備

他機との接続

ここでは、接続端子の名前とはたらき、およびビデオデッキなど他の機器のつなぎかたについて説明しています。
テレビを見るための接続と準備については、「テレビの接続と準備」（☞18〜27ページ）をご覧ください。

接続端子の名前とはたらき

☞のページに詳しい説明があります。

1 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。

2 VHF/UHF**アンテナ端子**（☞19**ページ**）
VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

3 **ビデオ入力端子**（S1**映像/映像/音声**）（**ビデオ**ID-1**システム**）（☞31〜33、35、37**ページ**）
ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

☞のページに詳しい説明があります。

4 コンポーネント入力端子（D1映像/音声）（☞32〜33、36〜37ページ）

D1映像入力端子*

BSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器などのD映像出力端子につなぎます。

音声入力端子

BSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器の音声出力端子につなぎます。

コンポーネント入力端子（D1映像/音声）にBSデジタルチューナーをつなぐときは（☞32ページ）

コンポーネント入力端子（D1映像/音声）にDVDプレーヤーをつなぐときは（☞36ページ）

5 AVマルチ入力（ゲーム）端子（☞34ページ）

別売りのマルチAVケーブル（VMC-AVM250）を使って、"プレイステーション2"、"プレイステーション"のAVマルチ出力端子につなぎます。RGB接続になり、よりきれいな映像でゲームを楽しめます。

6 DC入力16.5V端子（☞21ページ）

ACパワーアダプターをつなぎます。

D端子について

BSデジタル放送*には次のような信号フォーマットがあります。

* BSデジタル放送の受信には、別途、BSデジタルチューナーが必要となります。

信号フォーマット	走査線数	有効走査線数
525i（480i）	525本	480本
525p（480p）	525本	480本
1125i（1080i）	1125本	1080本
750p（720p）	750本	720本

iはインターレース：飛び越し走査、pはプログレッシブ：順次走査の略です。

（ ）内は走査線数で数えたときの別称です。

BSデジタル放送の信号フォーマットに対応するD端子の種類は次のようになっています。

D端子の種類とその対応信号フォーマット

D端子の種類	525i	525p	1125i	750p
D1端子	○	×	×	×
D2端子	○	○	×	×
D3端子	○	○	○	×
D4端子	○	○	○	○

本機にはD1映像入力端子がついています。BSデジタルチューナーの出力設定については、BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

ビデオをつなぐ

ビデオデッキ、ビデオカメラ、またはレーザーディスクプレーヤーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

S1映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

よりよい画質でご覧いただくために、S1映像端子につないでください。
つなぐ機器にS映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

テレビのビデオ入力のS1映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは

ビデオの映像信号をどちらの端子から入力するかを、メニュー画面で設定できます。お買い上げ時は、S1映像入力端子から入力された画像が映ります。

1 ビデオボタンをくり返し押して、切り換えたいビデオ入力を選ぶ。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「 （各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。

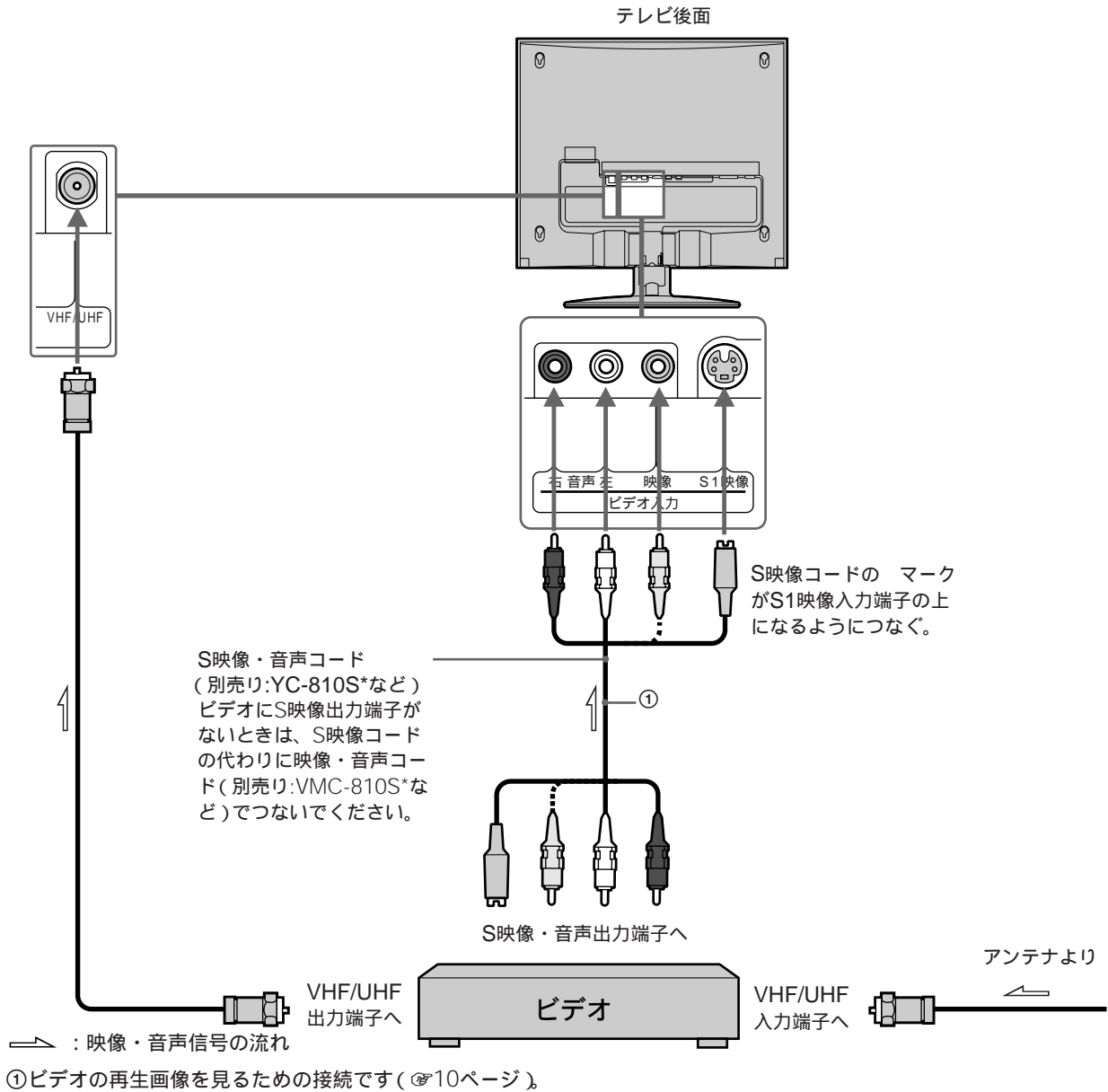
4 ↑/↓で「S映像」を選び、決定ボタンを押す。

5 S1映像入力端子から入力された画像を見るときは

↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。

映像入力端子から入力された画像を見るときは

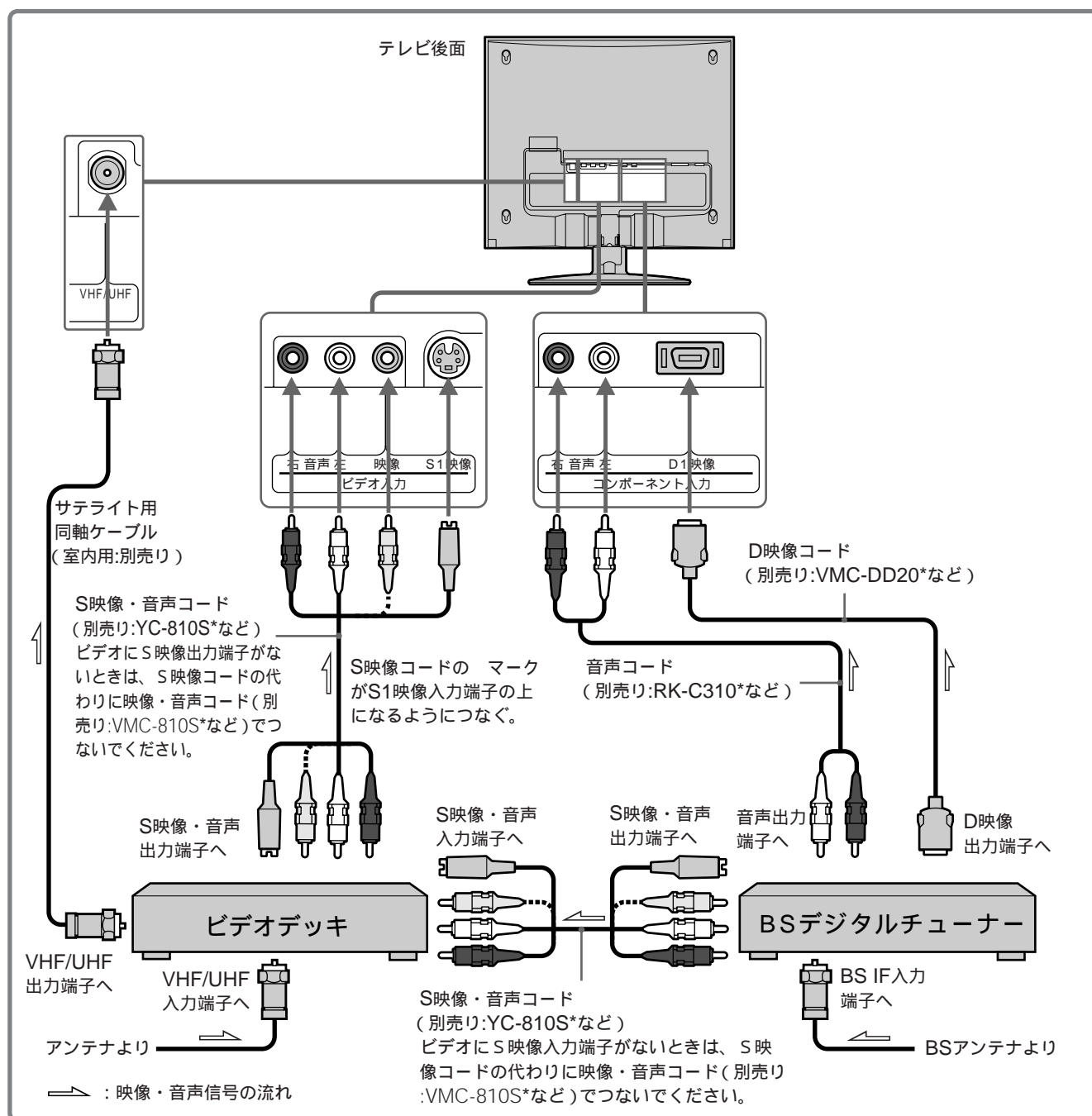
↑/↓で「切」を選び、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ビデオを見るには

ビデオボタンを押して、ビデオをつないだビデオ入力（「ビデオ」）を表示させる。
詳しくは、☞10ページをご覧ください。

* 2002年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

BSデジタルチューナーをつなぐ

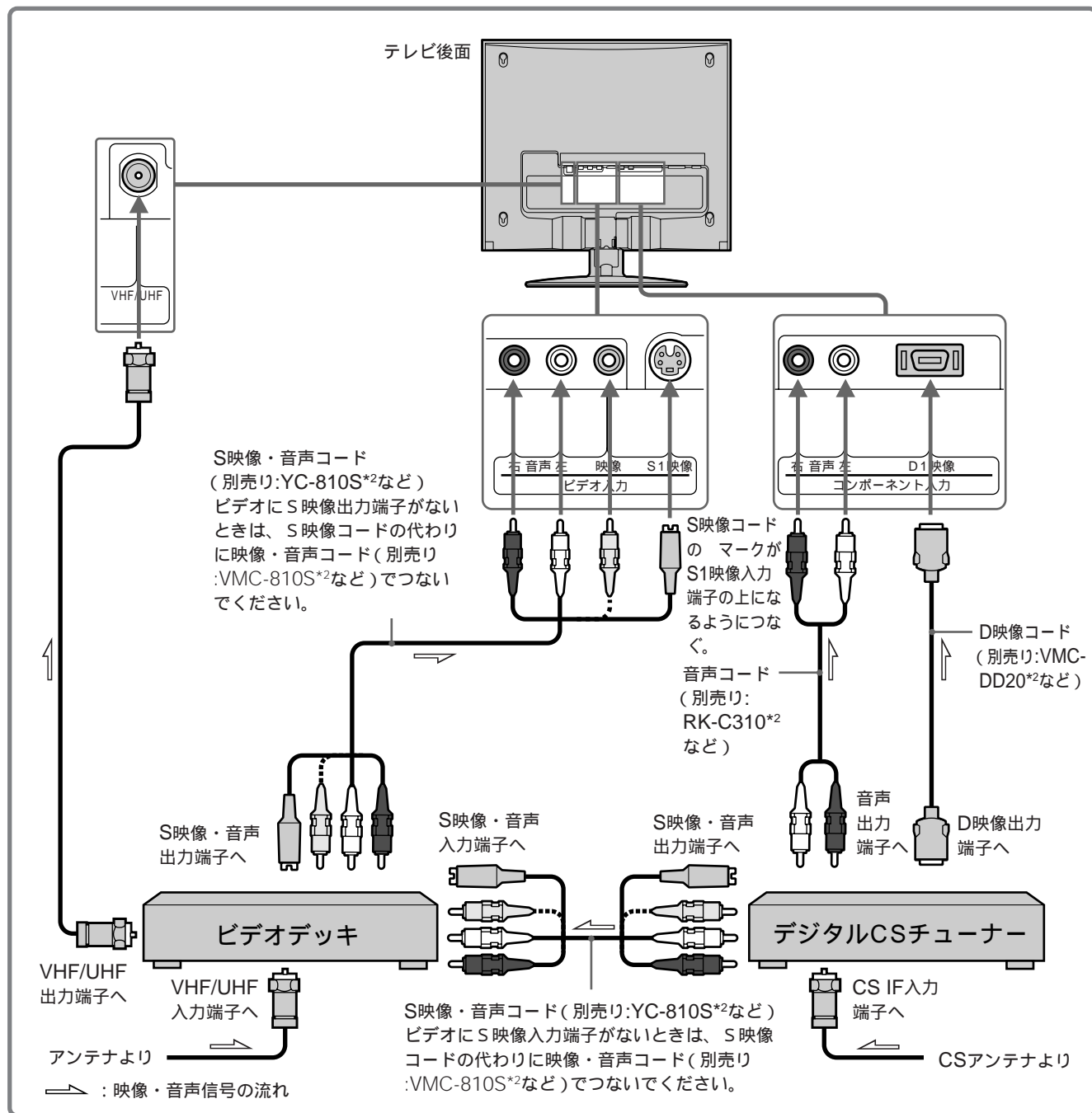
2000年12月から放送が開始されたBSデジタル放送を見るには、BSデジタルチューナーが必要です。BSデジタルチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

BSデジタル放送を見るには

コンポーネントボタンを押して、BSデジタルチューナーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント」）を表示させる。
詳しくは、☞10ページをご覧ください。

* 2002年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCS放送*1を見るには、デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくはデジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

*1 2002年4月現在放送されているスカイパーフェクTV！のことです。2002年3月から放送が開始された110度CS放送ではありません。

デジタルCS放送を見るには

コンポーネントボタンを押して、デジタルCSチューナーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント」）を表示させる。
詳しくは、☞10ページをご覧ください。

*2 2002年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

“プレイステーション 2”、“プレイステーション ”(PS one) および“プレイステーション”をつなぐ

“プレイステーション 2”、
“プレイステーション ”(PS one) および
“プレイステーション ”の取扱説明書もあわせて、お読みください。

ご注意
“プレイステーション 2”の一部の機種では、マルチAVケーブル（VMC-AVM250*）で接続し、DVDビデオを再生した場合、出力信号（RGB）がコンポーネント映像信号（Y Cb/Pb Cr/Pr）に固定されるため、画面が乱れることがあります。このテレビのAVマルチ入力端子は、このコンポーネント映像信号に対応していますが、「AVマルチ入力」が「AVマルチRGB」に選択されているとDVDが正しく再生されません。AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチY/CB/CR」を表示させ、入力を切り換えてください。
詳しくは、“プレイステーション 2”本体の取扱説明書をご覧いただくか、下記にお問い合わせください。

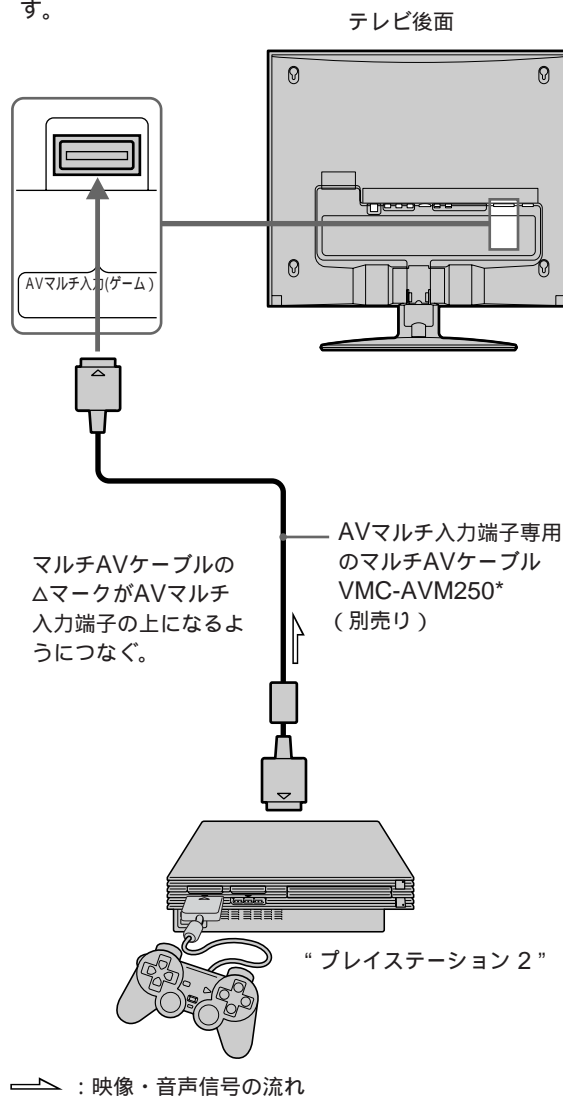
株式会社　ソニー・コンピュータエンタテインメント
インフォメーションセンター
ナビダイヤル 0570-000-929
携帯電話・PHSでのご利用は 03-3475-7444
受付時間：10:00～18:00（土日祝日を除く）

“プレイステーション ”は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
また、“PS one ”は同社の商標です。

* 2002年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

別売りのマルチAVケーブルでつなぐときは

RGB接続またはY/CB/CR接続になり、高画質な画像でゲームを楽しめます。

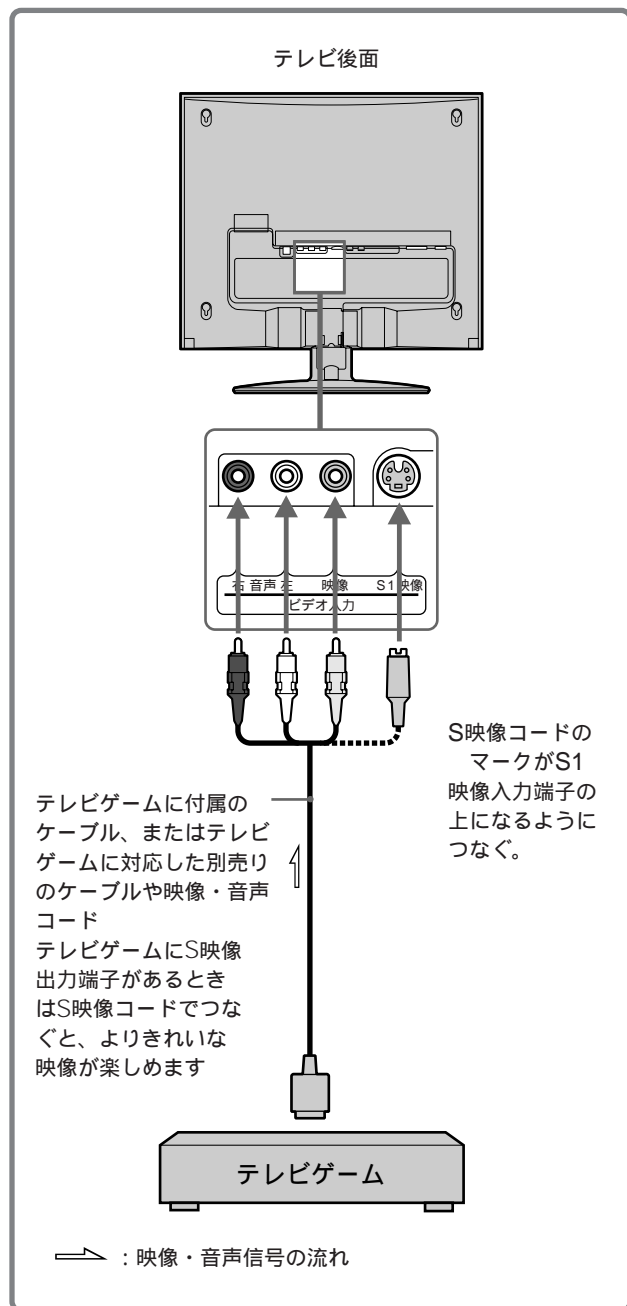
ご注意
ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB接続またはY/CB/CR接続に適していないものもあります。

“プレイステーション 2”を使うには

“プレイステーション 2”側のシステム設定画面にある「コンポーネント映像出力」と同じ設定に合わせます。AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチRGB」または「AVマルチY/CB/CR」を表示させる。
詳しくは、☞10ページをご覧ください。

“プレイステーション ”(PS one) および“プレイステーション ”を使うには

AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチRGB」を表示させる。
詳しくは、☞10ページをご覧ください。

その他のテレビゲームなどをつなぐ

テレビゲームの取扱説明書もあわせてお読みください。

テレビゲームをするには

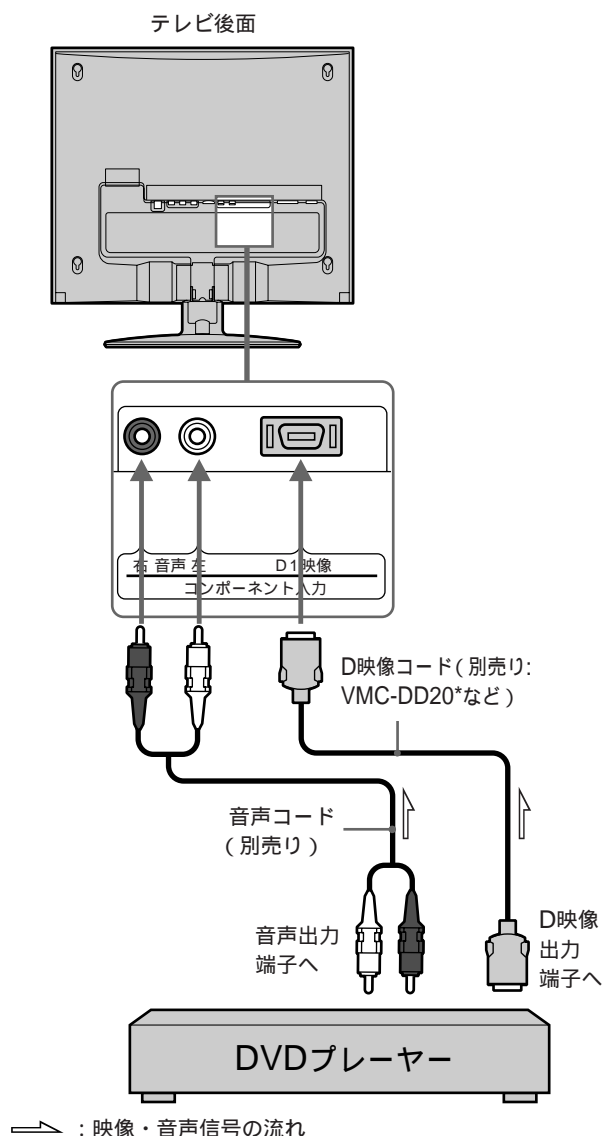
ビデオボタンを押して、テレビゲームをつないだビデオ入力（「ビデオ」）を表示させる。
詳しくは、☞10ページをご覧ください。

ご注意

電子的なライフルやガン（銃）などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、テレビの画面を使用できないことがあります。詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

DVDプレーヤーをつなぐ

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーはテレビのコンポーネント入力端子につなぐと、より高画質の画像をお楽しみいただけます。
DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

D映像コードの代わりに、映像コード（別売り: VMC-DP20*など）を使ってY端子、 C_B端子、 C_R端子とD端子をつなぐこともできます。

* 2002年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

コンポーネントボタンを押して、DVDプレーヤーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント」）を表示させる。
詳しくは、☞10ページをご覧ください。

* 2002年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

DVDを見るには

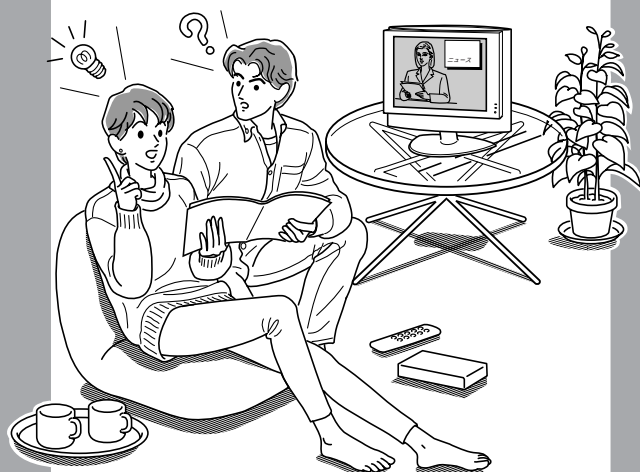
コンポーネントビデオ出力端子のないDVD**プレーヤーのときは**

ビデオボタンを押して、DVDプレーヤーをつないだビデオ入力（「ビデオ」）を表示させる。

詳しくは、☞10ページをご覧ください。

他機との接続

その他

ここでは、テレビが正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。
また、各部の名前や索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

テレビ本体の型名：

ケーエルブイ　エスアール
KLV-15SR1

リモコンの型名：

アールエム　ジェイ
RM-924J

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

自己診断表示

このテレビには自己診断表示機能がついています。これはテレビに異常が起きたときに、電源ランプの点滅でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。電源ランプがオレンジ色に点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

1 電源ランプの点滅時間（このとき色はオレンジ）を計ってください。
たとえば、2秒点灯→1秒消灯→2秒点灯
2 テレビ本体の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅のしかた（時間）を知らせてください。

テレビの症状と対処のしかた

症状		対処のしかた
画像が出ない	**すべてのチャンネルが映らない。**	• 電源コードをしっかりつないでください。 • テレビ本体の電源を入れてください。 • アンテナ線をしっかりつないでください。
	特定のチャンネルだけが映らない。	• チャンネルを合わせ直してください（☞22ページ）。
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた（スタンバイ状態になった）。	• テレビの消し忘れを防ぐため、放送終了後、または放送のないチャンネルを受信している状態やつないだ機器からの入力信号がない状態で、約10分過ぎると、「まもなく電源が切れます」と表示されて、自動的にスタンバイ状態になります。 • オフタイマーを設定していませんでしたか?（☞17ページ）
	つないだ機器の画像が出ない。	• 接続コードをしっかりつないでください。 • リモコンの入力切換用のボタンを押してください（☞10ページ）。 • S映像入力のときは、「（各種切換）」メニューで「S映像」を「入」にしてください（☞30ページ）。
きれいに映らない	**画像が二重、三重になる。**	• アンテナ線をしっかりつないでください。 • アンテナの位置、方向、角度を調整してください。
	雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	• アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 • アンテナの寿命を確認してください（通常3〜5年、海辺では1〜2年）。
	斑点や点模様が走る。	• ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
	色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	• 画質モードボタンを押して、画質設定を選んでください（☞6ページ）。 • 「（画質/音質）」メニューで、画質を調整してください。 • 「消費電力:減」のときは、画面が暗くなります（☞7ページ）。
	画面がまぶしい。	• 画質モードボタンを押して、画質設定を選んでください（☞6ページ）。
	縞状のノイズが多い。	• 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 • アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
音が出ない／雑音が多い	**画像は出るが、音が出ない。**	• 音量が下がりきっていないか確認してください。 • 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか音量＋ボタンを押して表示を消してください。 • ヘッドホンを抜いてください。
	雑音が多い。	• 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 • アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 • フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 • 「（各種切換）」メニューで「オートステレオ」を「切」にしてください（☞16ページ）。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状		対処のしかた
メニューが選べない	**メニューで選べない項目がある。**	• 薄く表示されている項目は選べません（見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています）。
画面が切り換わる／つぶれて見える	**「ワイドモード」が「オート」のときに画面モードが勝手に切り換わる。**	• 横縦比の信号（D1映像入力端子からのBSデジタル放送やID-1/S1方式）が入った映像は、自動判別して、縦方向を圧縮した横縦比16:9のワイド画面にするためです。
	「ワイドモード」が「入」のときに画面がつぶれて見える。	• 通常のテレビやBS放送など横縦比4:3の映像で、「ワイドモード」を「入」にすると、縦方向に圧縮されて不自然に見えることがあります。メニューの「各種切換」で「ワイドモード」を「オート」にしてください（☞8ページ）。 • ワイドクリアビジョン放送や上下に黒帯が入っている横長の映画などのワイド画像のときは、横縦比の信号が含まれていないため、従来から入っていた黒帯部分まで縦方向に圧縮されて、よりつぶれた映像になるためです。メニューの「各種切換」で「ワイドモード」を「オート」または「切」にしてください（☞8ページ）。
リモコンが働かない	**リモコンで操作できない。**	• 電池を交換してください。 • 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 • テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯していないときは、テレビ本体の電源スイッチを押してください。 • リモコンをテレビのリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 • リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具またはテレビの位置を調整してください。
	リモコンのチャンネル数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	**ダイレクト選局の場合（☞25ページ）** • 「（テレビ設定）」メニューで「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 10**キー選局の場合（☞25ページ）** • 「（テレビ設定）」メニューで「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 • 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑫/選局を押してください。 • チャンネル数字ボタンに続けて⑫/選局を押してください。

使用上のご注意

電源についてのご注意

付属のACパワーアダプターをお使いください。

使用・設置場所についてのご注意

次のような場所での使用・設置はおやめください。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど、温度の高い場所
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 振動の多い場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。
- テレビの底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
- 壁に掛けて使用するときは必ず専用の壁取付金具（別売り）を使用してください。

音量について

- 周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を十分し、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

液晶画面についてのご注意

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 前面のフィルターを強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

蛍光管についてのご注意

本機は内部照明装置として専用蛍光管を使用しておりますが、この蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管に取り替えてください。蛍光管の交換については、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）がある場合がありますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

お手入れ

スクリーン面の汚れは

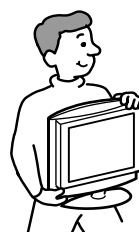
スクリーン面は反射による映り込みを抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。

- スクリーン表面に付いた汚れは、クリーニングクロス（付属）やメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロス（付属）やメガネ拭きなどの柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはスクリーン表面を傷めますので絶対に使用しないでください。

外装の汚れは

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。

搬送時のご注意

- 本機を運ぶときは、本機に接続されているケーブル等をすべてはずしてください。
  落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。
- 本機を手で運ぶときは、図のようにテレビの上下を持ち支えるようにしてください。後面のカバーは外れやすいので、カバーのみを持たないでください。

次のページにつづく

使用上のご注意（つづき）

廃棄するときは

- **一般の廃棄物と一緒にしないでください。**
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
- **本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

リモコン取り扱い上のご注意

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

保証書とアフターサービス

このテレビは日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。
その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KLV-15SR1
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
受信チャンネル　VHF 1～12チャンネル
UHF 13～62チャンネル
CATV C13～C35（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）
画面寸法　30.6×22.9cm、38.1cm
（幅×高さ、対角）
LCD パネル　a Si TFTアクティブマトリックス
有効画素率　99.99%
表示画素数　水平　1024ドット
垂直　768ライン
使用スピーカー　5×9cm 楕円×2
音声出力　実用最大
3W×2（JEITA）、16Ω

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF、75Ω F型コネクター
ビデオ入力端子　S1映像:4ピンミニDIN
Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C:0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像: ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声: ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス
47kΩ以上
コンポーネント入力端子
D1映像:
Y:1Vp-p（0.3V負同期付き）
C_B/C_R:±350mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声: ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス
47kΩ以上
AVマルチ入力（ゲーム）端子
12ピン
ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス16Ω以上

電源部・その他

消費電力　45W（ACアダプター使用時）
（リモコン待機時 1.4W）
最大外形寸法　スタンド含む:40.6×40.5×18.4cm
（幅×高さ×奥行き）
スタンドなし:40.6×34.8×7.0cm
質量　約5.3kg（スタンド含む）
約4.5kg（スタンドなし）
電源　使用電源:AC100V、50/60Hz
（ACパワーアダプター使用）
入力電源:DC16.5V
（ACパワーアダプター使用）

付属品　リモートコマンダー　RM-924J（1）
乾電池　単4形（2）
ACパワーアダプター　AC-FD001B（1）
電源コード（1）
アンテナ接続ケーブル（1）
クリーニングクロス（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために（1）

別売りアクセサリー

液晶テレビ用壁取付金具　SU-W100
ステレオヘッドホン　MDR-AV55*など
AVマルチ入力（ゲーム）端子専用のマルチAVケーブル
VMC-AVM250*
接続ケーブルなど

* 2002年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

インターレース（飛び越し走査）

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。

カ行

ケーブルテレビ（CATV）

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

サ行

走査線・有効走査線数

テレビ映像の動画は1秒間に60枚の静止画を連続して表示することにより再現します。それぞれの静止画は多数の線の集合としての面として描かれており、この線のことを走査線と呼びます。走査線の数は映像信号フォーマットごとに決まっており、走査線の数が多いほどきめ細かい高精細な映像と言えます。通常のテレビ放送の走査線数は525本、ハイビジョン放送では1125本となっています。
この走査線の中には映像信号のほかにさまざまな識別制御信号なども含まれており、全走査線数中の映像信号の走査線数を有効走査線数と呼びます。通常のテレビ放送の有効走査線数は480本、従来のハイビジョンでは1035本、デジタルハイビジョンでは1080本となっています。
この液晶テレビは、固定ピクセルデバイスを採用しており、テレビが表示する走査線数はパネルによって固定的に決められています。

タ行

チューナー

電波を受信して各チャンネルに合わせるための機器です。このテレビはテレビチューナーを内蔵しています。

デジタルCS放送

通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

ハ行

ビスタビジョン

画面の横縦比が1.85:1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1フレーム目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフレームも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

数字・アルファベット順

BSデジタル放送

2000年12月から本放送が開始された放送衛星を使って、デジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送、CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。
BSデジタル放送を受信するには、別途BSデジタルチューナーが必要となります。

D端子

デジタルCS放送、BSデジタル放送およびDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。デジタルCSチューナーやDVDプレーヤーなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。
D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。
本機にはD1入力端子が付いてます。
- D1端子 : 525i（480i）の信号に対応
- D2端子 : 525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子 : 525i（480i）と 525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子 : 525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

ID-1方式（ビデオID-1システム）

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。このテレビはID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、テレビのビデオ入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

NTSC方式

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式で、毎秒30コマ、水平走査線数525本などが特長です。アメリカの連邦テレビジョン方式委員会（National Television System Committee）が制定し、1954年に放送が正式に開始されました。欧州や中国などで使われているPAL方式やSECAM方式とは互換性がありません。

各部の名前/
Identifying parts and controls

テレビ前面/TV Front Panel

電源

電源
スイッチ☞4ページ
Power switch page 4

＋
チャンネル
－

チャンネル
＋/－ボタン☞4ページ
Channel +/– buttons page 4

＋
音量
－

音量
＋/－ボタン☞4ページ
Volume +/– buttons page 4

入力切換

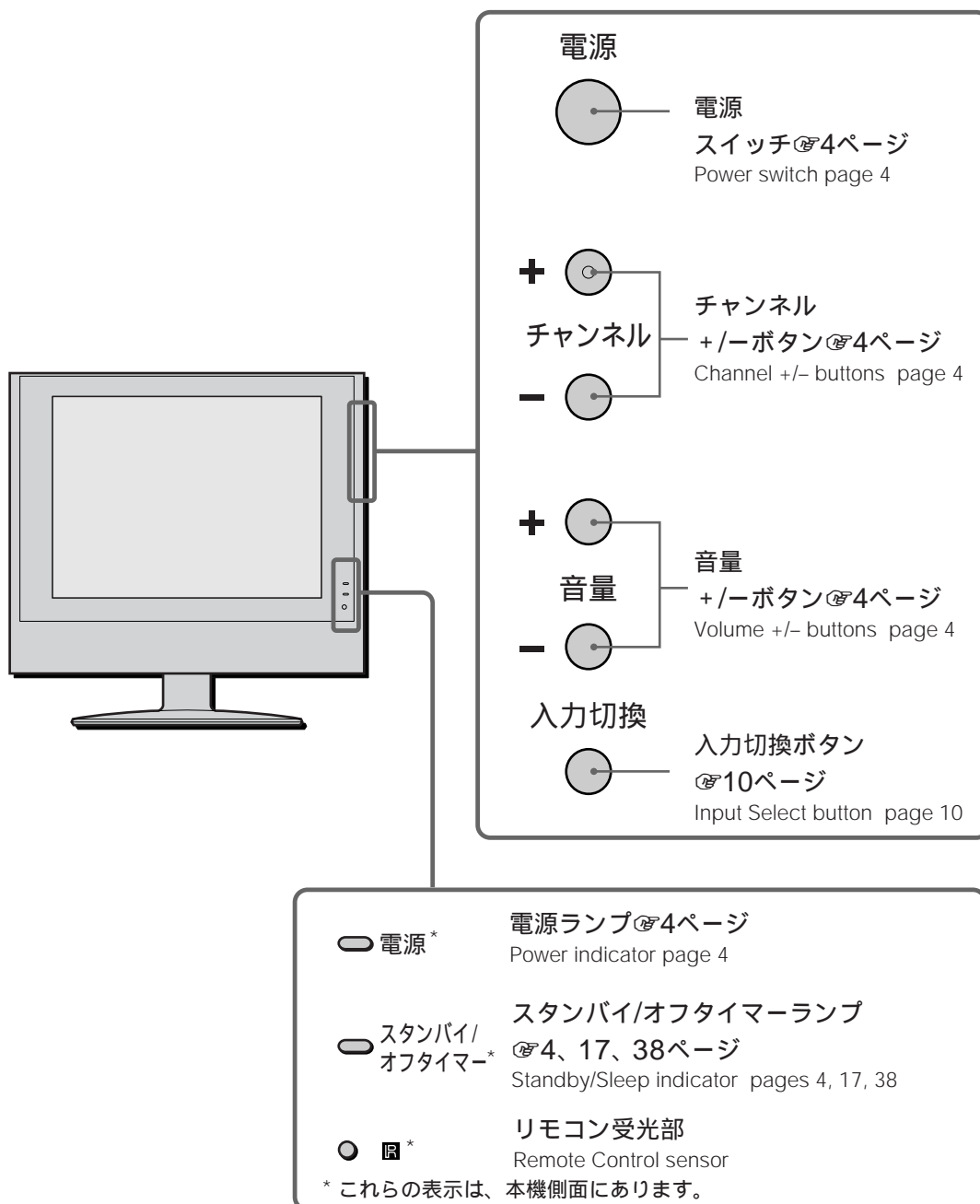
入力切換ボタン
☞10ページ
Input Select button page 10

電源*
電源ランプ☞4ページ
Power indicator page 4

スタンバイ/オフタイマー*
スタンバイ/オフタイマーランプ
☞4、17、38ページ
Standby/Sleep indicator pages 4, 17, 38

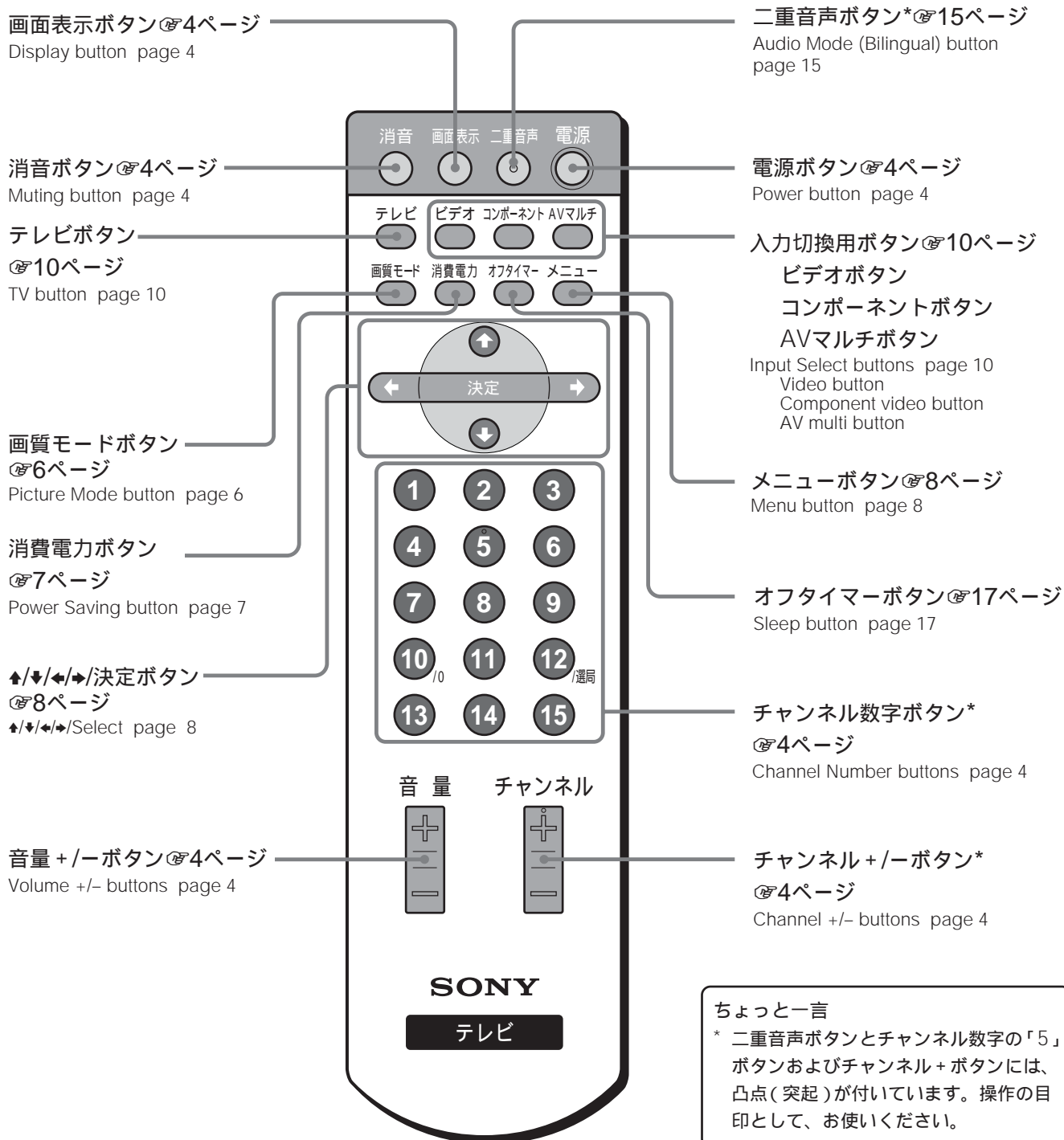
*
リモコン受光部
Remote Control sensor

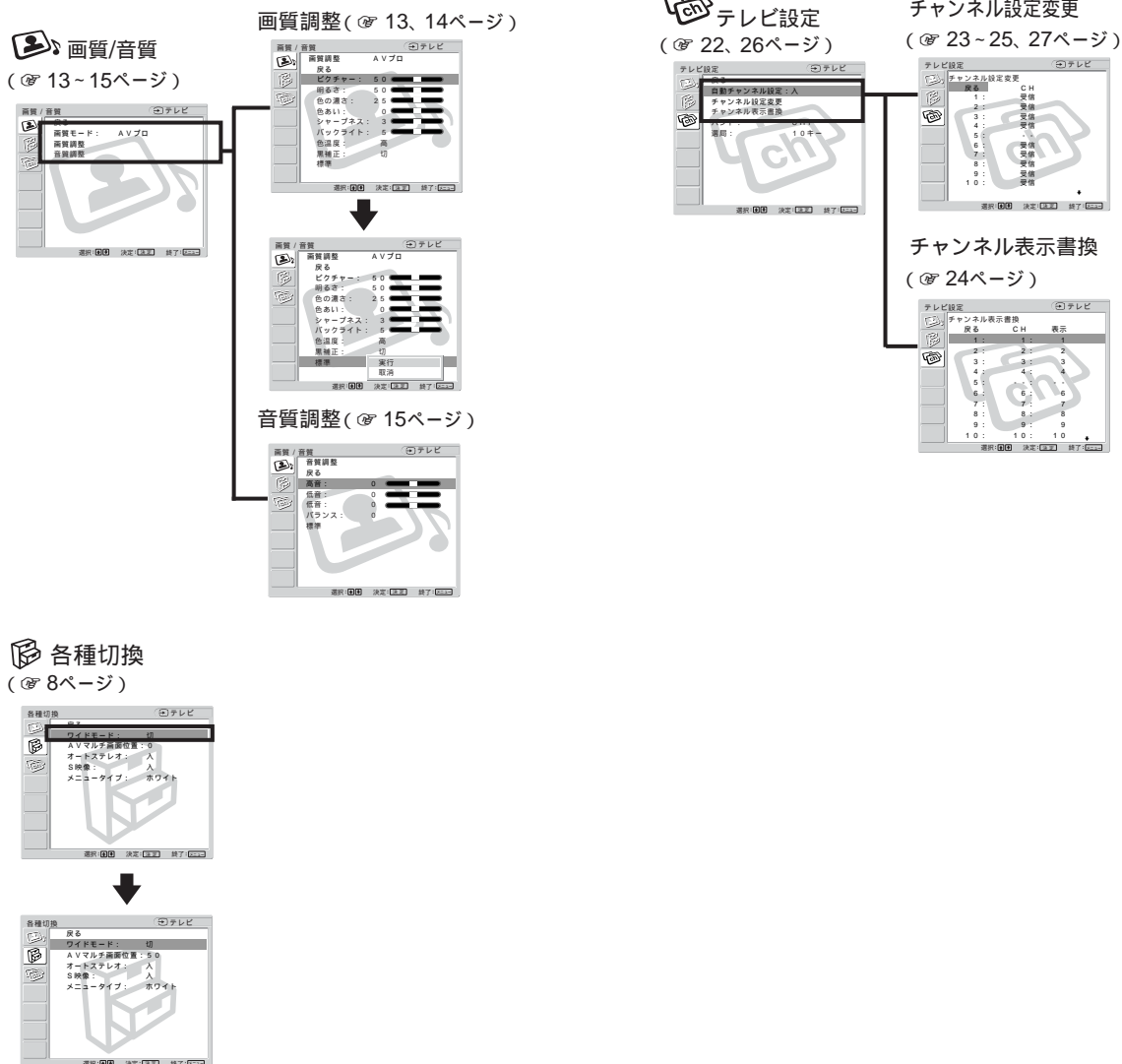
* これらの表示は、本機側面にあります。

その他

各部の名前/Identifying parts and controls（つづき）

リモコン/Remote Control

ちょっと一言

* 二重音声ボタンとチャンネル数字の「5」ボタンおよびチャンネル＋ボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

メニュー一覧

「各種切換」の「メニュータイプ」でメニュー画面の背景色を切り換えられます。メニュー画面には「ホワイト」と「ブラック」があります。

- メニューはリモコンのメニューボタンを押すと表示され、⬆/⬇/⬅/➡で選び、決定ボタンまたは➡で決定します。ただし、➡で決定できないメニューもありますのでご注意ください。
- 黄色で表示される部分が選ばれています。
- 薄く表示される部分は選べません。

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
● Fax 0466-31-2595

受付時間：
月〜金 9:00〜20:00
土・日・祝日 9:00〜17:00

http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan